VOLUME
01
2024

“わたし”らしく働く場所・人と出会うガイドブック

徳島で

仕事みっけ

Shigoto Mikke

TAKE FREE

徳島のワカモノが活躍する企業

働く上で一番大事!?
職場の人間関係が
ひと目で分かる

ワカモノが活躍する企業の『職場の相関図』

意外と頑固！笑
でも、かわいい後輩！

（怒ったら怖いけど）
頼れる先輩！

10代・20代の若手社員&
現役の学生111名に聞いた、
「理想の職場」大調査！

ワカモノ目線！理想の職場に求めるもの、みっけ！

とくしまの企業20社掲載！

GOOD WORKPLACE, GOOD PEOPLE IN

TOKUSHIMA

“わたし”らしく働く
場所・人と出会う
ガイドブック

徳島で

仕事みっけ

Shigoto Mikke

VOLUME
01

徳島県

“わたし”らしく働く場所・人と
出会うガイドブック

徳島で
仕事みっけ
Shigoto Mikke

ワカモノに刺激を与え、
ワカモノの興味をくすぐる。

「徳島で仕事みっけ」は、これからの徳島を築いていく
若い世代の皆さんにお届けする徳島の企業情報ガイドです。
職場を選ぶのは、条件や待遇面だけじゃない。
「わたしらしく」働ける職場かどうか、いっしょに働く人や環境が
「わたしらしく」居られる場所かどうか。
そんな視点で、徳島の魅力的な企業を見つけてみてください！

VOLUME
01

徳島県就職支援情報サイト ジョブナビとくしま

JOBNAVITOKUSHIMA

UIJターン希望者と県内企業とのマッチング支援を行うほか、
イベント・セミナー情報、徳島県の企業情報などを提供しています。

とくしまで
就職するなら、
まずは登録！

メリット 01
資料送付依頼から求人への応募まで、
企業へのアプローチが可能

メリット 02
自分の経験や魅力をアピールしたり、
希望条件を公開し、
リクエストを待つことができる

メリット 03
ジョブステ職業相談員の
サポートを受けられる

徳島県の雇用相談窓口(ジョブナビとくしま運営) とくしまジョブステーション

TOKUSHIMA JOB STATION

「ジョブナビとくしま」を利用して、
企業やUIJターン希望者を対象に、求人・求職者情報の提供、
就職相談への対応などを行っています。

＼ Follow Me ／

お問い合わせ

〒770-0831 徳島市寺島本町西1丁目61番地
徳島駅クレメントプラザ5F　とくしまジョブステーション
TEL 088-625-3190　Mail jobstation@crie.net

徳島のワカモノに聞いた！

高校生・大学生＆専門学校生・10〜20代社会人

「働くこと」&「就活」への意識調査 111名

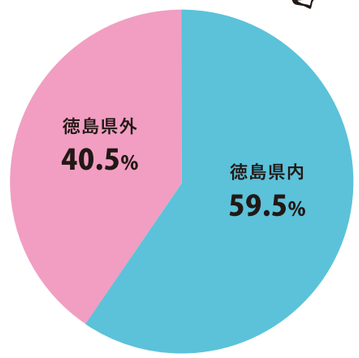
徳島に住む学生＆徳島で働く社会人、合計111名に働くことや就活について約10個の質問を投げかけてみました。
いまの10代、20代の徳島のワカモノたちの仕事観や、就活への価値観が垣間見えるかも！？

（アンケート実施期間：2023年11月1日〜11月30日）

10代・20代の学生に聞いた！

Q 希望の就職地はどこですか？

「進学・就職で地元に残るか県外に出るか」。多くの人が一度は人生の分岐点でこの問題に直面したことがあるかもしれない。今回のアンケートでは「徳島県内で働きたい」と回答した人は約6割で地元志向のワカモノが多いという結果に。県外希望者の中にも「将来的には徳島へ戻りたい」と回答した人もいた。



徳島県外で働きたい派

都会に憧れを持っているから（高校1年生）／交通の便がいいから（大学4年生）／地元を出て自立するため（専門学校2年生）／大学進学で県外から徳島へ来ました。将来的には地元の兵庫に帰りたいので県外（自分の地元）で就職します！（大学2年生）／まだ県内か県外か迷っているが、県外の様子も知って見聞を広げたい（大学2年生）／働き口が多いため（大学3年生）／競争の激しい都市部で力をつけてから徳島に戻りたいから（大学4年生）／収入を多く得たいので徳島県だけではあまり将来性が見えないと思うから（高校1年生）など

徳島県内で働きたい派

徳島が好きだから（高校1年生）／大学で県外に行って、また地元に帰って働きたいから。1番土地勘もあるので（高校2年生）／家族がいて困った時に頼れるから（高校1年生）／徳島の自然を楽しみたいから（専門学校1年生）／実家に近いほうがいいから（専門学校2年生）／自分の技術を県内で活かしたいため（専門学校2年生）／ eスポーツを広める活動を徳島でしたい（専門学校3年生）／徳島で地方創生に関する活動をしていてその経験を活かしたいから（大学1年生）／地元に貢献したいから（大学2年生）／慣れた土地で住み続けたいから（大学2年生）など

10代・20代の社会人に聞いた！

Q 徳島で就職した理由を教えてください！

生まれ育った徳島県が好きだから。
（24歳・総合職）

家から通えて貯金ができるから。
（22歳・事務職）

どんどん若者が流出していく今、自分は地元の力になりたいと思った&田舎でもやりたい仕事があったから。
（27歳・デジタルマーケティング、広報）

地元の幼なじみたちが皆帰ってくるから。
（22歳・建設業）

出身高校とのつながりもあり、会社の雰囲気や先輩社員の方々の優しさと新技術に興味があり、新技術に力を入れている今の職場を知って就職しようと思いました。
（21歳・建設コンサルタント）

結婚のためです。
（26歳・事務職）

阿波踊りがしたくて地元に就職しました。
（25歳・製造業）

仕事で地域貢献するのであれば、地元徳島でしたいと思ったから。
（25歳・建設業）

地元に関わる仕事をしたかったから。
（23歳・技術職）

県外に出て地元の良さに気づかされたから。
（23歳・技術職）

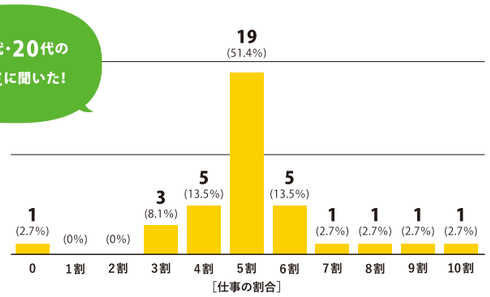
親に頼まれたから。
（27歳・営業職）

家族がいる地元（徳島県）でずっと居たかったから。
（28歳・製造業）

Q 生活におけるワークライフバランスは？

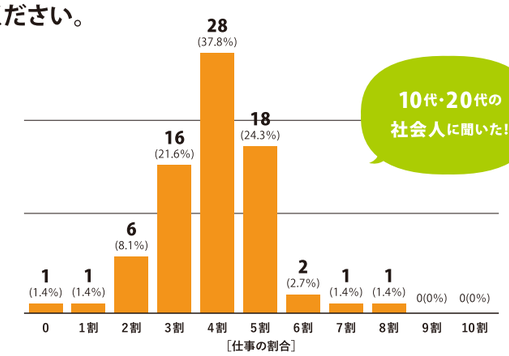
「仕事」と「プライベート」理想の割合を教えてください。

10代・20代の学生に聞いた！



仕事5割、プライベート5割というちょうど半分ずつが良いと答えた人が全体の半数に！ この結果から「自分の時間もしっかり確保したい」と考える学生が多いということが分かる。就職活動の際には、1カ月の勤務日数や残業時間の有無についてもしっかり下調べをしておこう。

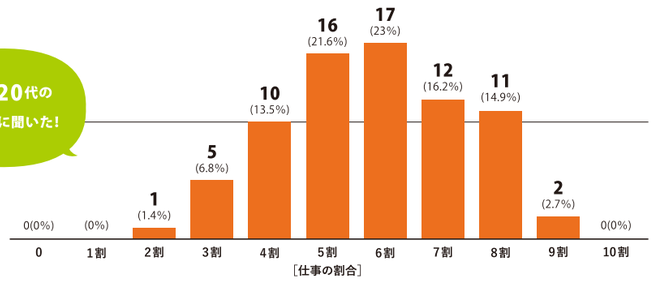
10代・20代の社会人に聞いた！



社会人の回答では「仕事4割」が37.8%と最も多い結果に。次いで「仕事5割」24.3%、「仕事3割」21.6%と、社会人の皆さんにとっては仕事よりプライベートの充実を希望する傾向にあるが、実際のところは…。

「仕事」と「プライベート」現実の割合を教えてください。

10代・20代の社会人に聞いた！



徳島で働くワカモノ社会人のリアル！

最も多いのが「仕事6割：プライベート4割」で、全体の23%を占めた。社会人の「理想」で一番回答の多かった「仕事4割：プライベート6割」とは真逆という結果に。また、仕事7割、8割、なかには9割という回答があるものの、「仕事5割：プライベート5割」という学生の理想に近い回答をした人が21.6%で第2位となった。県内の企業でも働き方改革が進んだり、多様な働き方ができる企業が増えたりしているなかで、徳島で働く社会人の「リアル」は理想とかけ離れてはいないということが分かる。

上記の「理想」と「現実」のギャップについて、どうすれば「理想」に近づけられると思いますか？

10代・20代の社会人に聞いた！

努力型

はやく仕事を覚える（19歳・建設業）／自分の能力を高める（24歳・事務職）／具体的な理想・目標を立てて、それに向かって取り組む（25歳・営業職）／資格を取って知識を付け、早く仕事を終わらせることができるスキルを身に着ける（21歳・建設業）など

効率型

業務の効率を上げる（23歳・生産管理）／自分のしていることを洗い出して、効率化できるものを整理していく（23歳・技術職）／自動化・効率化できるところは積極的に行う（24歳・建設コンサルタント）など

現実主義型

あえて理想を高く持ちすぎない。今の自分で目指せるところから目指していく（22歳・建築業）／自身が理想としている項目の中から取捨選択を行い、捨てることが出来ないものを叶える（24歳・総合職）／ある程度のところで割り切る（27歳・建設業）など

働き方改善型

少しずつでも働き方改革をする（29歳・仕入業）／テレワークやタイムフレックス制の導入など、通勤にかかる時間を減らす（29歳・建設関連業）／自分が動きやすいように、人間関係の構築や仕事のしやすさを追求する（27歳・建設コンサルタント）など

リフレッシュ・休暇型

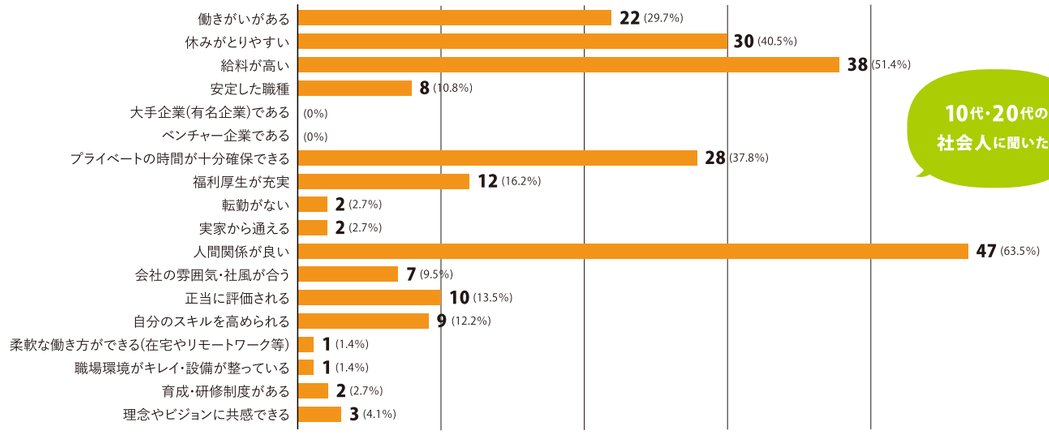
オンとオフを分ける（22歳・建設業）／休みの日は仕事のことを考えずにしっかり休む（24歳・営業職）／休みを増やす（20歳・事務職）など

その他

そういうものだと自分で納得するか、職を変える（22歳・建設業）／転職する（26歳・事務職）／異動を希望するなど、職場環境を変える（23歳・技術職）／スケジュール管理（24歳・建設業）／出来ることからワークライフバランスを調整していく（20歳・建設業）など

Q あなたが描く「理想の職場」の条件は？（条件を3つまで選択）

10代・20代の社会人に聞いた！



三好市
M・Hさん(26歳)

- 休みが取りやすい
- 会社の雰囲気、社風が合う
- 自分のスキルが高められる

私自身が趣味も多く、プライベートも充実させたいので、休みが取りやすい職場が理想的です。

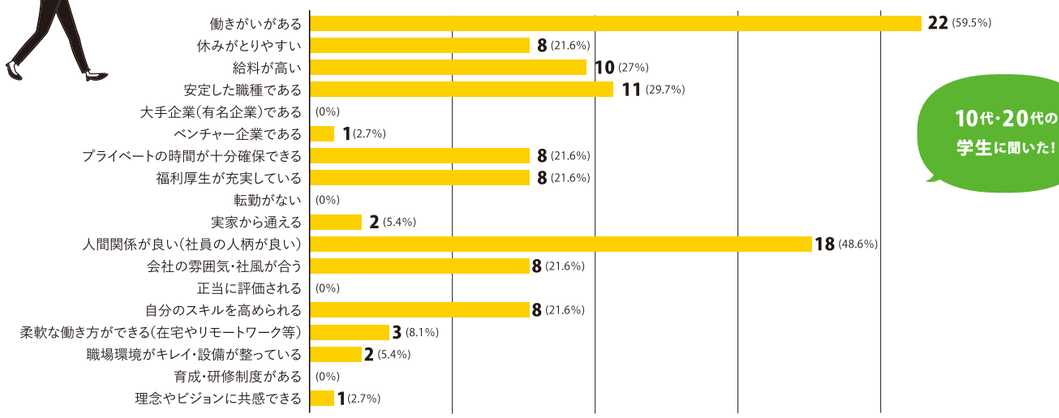
徳島市
M・Yさん(26歳)

- 人間関係が良い
- 給料が高い
- 自分のスキルを高められる

一番は人間関係です！　また、自分の取り組んだ仕事が評価(お給料)として還元されるのも大切な要素だと思います。

社会人経験を積んだ10代・20代が最も重視するのは、「人間関係が良い」で63.5%となった。仕事において切っても切り離せない「人間関係」。人間関係の良し悪しで転職を考える人も多い分、マストな項目となっている。次いで「給料が高い」が51.4%。「休みがとりやすい」「プライベートな時間が十分ある」の2つはほぼ同列。自分の時間もしっかり確保しながら、収入も得たいという意見が多い結果となった。

10代・20代の学生に聞いた！



徳島市
S・Rさん(18歳)

- 自分のスキルが高められる
- 会社の雰囲気、社風が合う
- 柔軟な働き方ができる

高校卒業後は進学するので、社会人になるのはまだまだ先ですが、自分が成長できる環境がある仕事を選びたいと思います！

阿波市
N・Rさん(20歳)

- 自分のスキルが高められる
- 働きがいがある
- 人間関係が良い

好きなことを仕事にして、働きがいを感じたい！　職場の人間関係も重要なので、就職前には会社の雰囲気も知っておきたいです。

社会人と比べると学生では「働きがいがある」がトップで59.5%。これから仕事に就く上で働きがいを重視するワカモノが増えていることが明確になった。次いで「人間関係が良い」が48.6%。この2つが突出して高かったが、社会人の意見で多かった「休みがとりやすい」「給料が高い」「プライベートの時間が十分ある」などは全体の20～30%以内にとどまった。

Q ひと言で回答してください！あなたにとって「仕事」とは？

10代・20代の社会人に聞いた！

「生きるため」「お金を稼ぐため」以外で出た、個性豊かな回答をピックアップ。自己実現や学びと答えた人、仕事の意義を答えた人は今のお仕事の充実度とリンクしている可能性が高い。

- 社会の一員でいるための手段のひとつ（23歳・技術職）
- QOL（生活の質）を上げるために必要なもの（28歳・製造業）
- 誰かに喜んでもらえること（25歳・事務職）
- やりがいのあるもの（24歳・総合職）
- 自分への試練（25歳・製造業）
- 人生の勉強（27歳・建設コンサルタント）
- 自分がしたいこと、好きなことが出来るところ（21歳・建設業）
- 目標実現のための過程（26歳・建設業）
- 居場所（27歳・事務職）
- 自己成長（24歳・営業職）

Q 仕事で苦難に直面したとき、どのようにして乗り越えた？

10代・20代の社会人に聞いた！

- 一つは相談、回避も大切だと思う（25歳・事務職）
- ためらわずに上司に相談！（24歳・事務職）
- 上司や同僚への相談、自分の行動を振り返り反省・改善（27歳・事務職）
- 自分で全部解決しようとせず、人に頼ってみる（25歳・営業職）
- 無理な時は人に頼る。ダメになる前に休む（28歳・製造業）
- 困難と正面から向き合い、辛い経験は必ず将来の糧となるという思いで乗り越えた（24歳・総合職）
- 1日悩んで反省して、あとは寝て忘れて切り替える（25歳・営業職）
- 我慢強く耐えた（26歳・建設業）
- 休日はしっかり趣味に没頭する。ご飯を食べる（25歳・製造業）
- たくさん好きなことをしてストレスを発散させた（19歳・製造業）

ワカモノが活躍する企業

徳島で
仕事みっけ
Shigoto Mikke
VOLUME 01

会社に新しい風を吹かすのはワカモノであり、
ワカモノが活発で元気に働く会社は同世代にとっても魅力的な企業です。
この冊子では徳島県内20社のなかから
徳島で働く10代、20代のワカモノ46人をご紹介！
活き活き働くワカモノたちの仕事ぶりをお届けします。

同期

01 株式会社 アルボレックス 08

先輩×後輩

02 株式会社 アトム 10
03 株式会社 エス・ビー・シー 12
04 株式会社 大竹組 14
05 株式会社 オカベ 16
06 株式会社 三友 18
07 株式会社 電脳交通 20
08 株式会社 広沢自動車学校 22
09 株式会社 ファルコン 24
10 株式会社 フジみらい 26
11 株式会社 マルハ物産 28
12 医療法人 はやし会 社会福祉法人 とみだ福祉会 30
13 四国放送 株式会社 32
14 ホンダ北徳島（ホンダカーズ徳島中央 沖浜店） 34
15 有限会社 高木建設 36

先輩×後輩×社長

16 アイ・エス・フーズ徳島 株式会社 38
17 東海運 株式会社 40
18 株式会社 アズマ四国 42
19 株式会社 岡本建設（住宅事業部 エソラハウス） 44
20 喜多機械産業 株式会社 46

徳島のワカモノが46人登場！

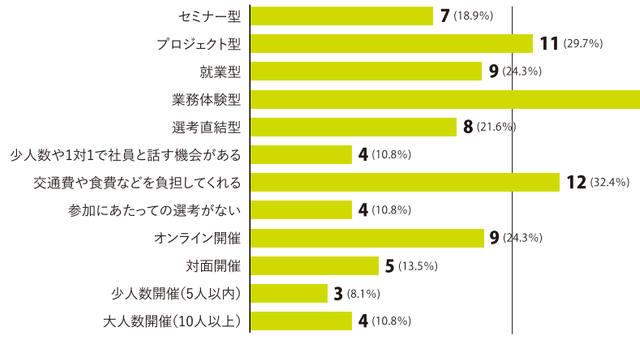
「先輩×後輩」を軸として、徳島で働くワカモノ46人を取材しました！ ワカモノたちと一緒に働く社長が登場している企業も必見。

ありそうでなかった、社内相関図！

働く上で一番気になる「人間関係」。本冊子では、社内の人間関係が分かる社内相関図を掲載。どんな人が働いているのか、周りの先輩たちとの関係が丸わかりに！

Q どんなインターンシップに行ってみたい？
（3つまで選択）

10代・20代の学生に聞いた！



セミナー型	業界や企業のことを講義形式で学ぶ
プロジェクト型	与えられた課題についてグループワークやディスカッションを行う
就業型	実際に給料をもらいながら会社の一員として働く
業務体験型	職場見学や実務の業務に近しい体験をする
選考直結型	インターンシップに参加することで早期選考や内定に繋がる

Q インターンシップの希望日数は？

1日派

学業が忙しいから（大学3年生）／2日連続で取れる日がなかなかない（高校2年生）／参加するなら全て参加したいが、長く続いてしまうと行けない日が出てきてしまうから（高校3年生） など

2〜3日派

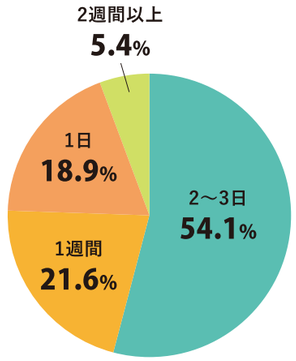
1日だけではその企業の魅力を知ることができない（高校1年生）／内容の濃いものになると思うから（大学3年生）／ 1日だと会社についてよく分からないまま終わり、1週間はストレスが大きくなりそうだから（大学3年生）／多くの企業に行ってみたいから1社あたりは2〜 3日がちょうどいい（高校1年生）など

1週間派

しっかりと勉強できるから（大学2年生）／長く体験してみたいから（大学3年生）／ 1週間様子を見て平日、休日の働き方を見てみたいから（高校2年生）／月曜日から金曜日までの会社の動きを知れるため。また、環境にも少し慣れ自分の持っているスキルを出せる時間が出来てくると思ったから（専門学校2年生）

2週間派

会社を詳しく知り、慣れて、学ぶまでには長い期間インターンシップをしたいと考えるから（大学1年生）／ある程度の日数を重ねてみないと分からないことが多々あると思うから（大学2年生）



アンケートは以上です！

これから社会人になる学生の皆さんや、今徳島で働いている10代・20代社会人たちの本音がギュギュっと集まった結果となりました。「徳島で仕事みっけ」では、ワカモノが活躍する魅力的な企業をたくさん紹介しています。自分らしさを発揮できる仕事や、自分らしく働ける場所探しの本として、ぜひ活用してください！

徳島県奨学金返還支援制度

若者の県内就職の促進と産業人材の確保をはかるため、「日本学生支援機構等」の奨学金を借りた大学生等が、県内事業所に一定期間就業した場合に奨学金の返還を支援します。

- ▶ 対象者(全国枠)　：①在学生（大学、短大、大学院、高専、専修学校専門課程）
  ②県外在住の既卒者（30歳まで）
- ▶ 助成上限額　：50万円〜100万円※学校種別等により金額は異なります。
- ▶ 対象者募集時期　：例年、8〜12月頃募集

対象や申請方法など詳細はこちら

お問い合わせ先

徳島県 政策創造部県立総合大学校本部
088-612-8801　sougoudaigakkou@pref.tokushima.jp

株式会社 アルボレックス

樹と木を究め、徳島からより良い住まいを演出する

仕事でもプライベートでも繋がる「真の仲間」と呼べる存在

入社から2年目を迎えるアルボレックスの同期４人。部署はそれぞれ異なるが、２～３カ月に一度の頻度で「同期会」と称してごはんへ行ったり、新卒だけで社内サークルの動物愛好会を立ち上げたりと、かなりの仲の良さだ。同期会の発起人である安藤壮一郎さん（24歳）は、もともと営業志望。就活時に現在の営業部の方々と出会い、「お客さまから信頼される、こんな営業マンになりたい」とアルボレックスに入社した。そんな安藤さんたちのお客さまの窓口担当として受発注を行うのが、立本幸恵さん（24歳）が所属する営業業務課だ。ハウスメーカーを志望していた立本さんは就活を進めるうちに建具や収納に興味が湧き、入社を決意。友だちも多く、住み慣れた徳島に戻ろうと京都からUターンした。同じように地元徳島でずっと働けることを就活の軸にしていた阿部真幸さん（24歳）は、収納家具を専門に扱う製造部 製造3課で日々業務に励んでいる。ちょうど阿部さんが入社したタイミングで新規商品がスタートし、新しい係が誕生した。阿部さんはその立ち上げメンバーとして製造3課へ配属され、日々お客さまの満足のゆく商品を製作している。最後、それら商品に送り状を添えて出荷するのが、総務部・武市彩花さん（24歳）の仕事だ。総務部では商品の取り扱いのほか、社員をサポートする役目を果たす。仕事においてもみんなが繋がっているアルボレックスは、チーム力でお客さまの満足を叶える。

製造業では珍しい交代勤務なし！異動による転勤もない老舗企業

今から１０２年前、「山田製材所」として誕生したアルボレックス。室内ドアや階段、玄関収納、造作部材などの木質系住宅内装部材の製造・販売を行う老舗企業だ。本社２Ｆのショールームにはラミネート製品や建具など、数々の技術が結集した製品が並ぶ。２０１４年度に「ブリーズドア」、２０１８年度に「スリット枠」でグッドデザイン賞を受賞した実績もあり、デザイン性と機能性を兼ね備えた製品を安定供給している。取引先は県外の大手ハウスメーカー、パワービルダー、建材メーカーなどで、営業部のスタッフたちは得意先を訪問し、新規開拓をするなど全国を駆け回る。アルボレックスは製造業としては珍しく夜勤がなく、さらに製造工場は徳島本社だけなので、出張はあっても異動による転勤がない。また、ここ数年で力を入れたのが、研修と社内の働き方改革。年間休日を増やし、男性の育休取得率もアップした。さらに、新入社員を先輩がマンツーマンでサポートする「新人指導員」制度を設け、一人ひとりを丁寧に育てている。「入社したら終わりではなく、若い社員の成長とともにライフスタイルが変わっても長く活躍できる会社にしていくことが大事。若い人たちには真っさらな状態で安心して入社してほしい」と、20年以上採用に携わる杉本総務部長は語る。その他、家族を会社へ招待する「家族参観日」を設けるなど、社員の家族まで大切にする温もりを感じる企業だ。

「部署間関係なく繋がりもあり、新人でも課長や次長など上の役職の人たちに相談しやすい環境がある」と、風通しが良い社風について教えてくれた。

本社2Fショールームにはアルボレックスで設計・開発した、多種多様な室内ドアや造作部材などを展示。実際の製品を見て、触れることができる。

社内相関図

2022年度 同期会メンバー

取材中にも容赦ないツッコミをみせた仲良しの2022年入社組。同期メンバーとして男性社員がもうひとりいるが、現在育休を取得中のため今回は残念ながら欠席。

DATA

株式会社 アルボレックス

TEL.088-662-5550

設　立	2009年3月（創業1921年）
代表者名	代表取締役　鈴木 啓
住　所	徳島県徳島市津田海岸町4-59
営業時間	7:50～17:15
休　日	土曜、日曜、祝日ほか
事業内容	木質系住宅内装部材（室内ドア、階段、玄関収納、造作部材等）の製造・販売
支店等	なし
募集職種	管理スタッフ（生産管理、品質保証、生産技術、営業、資材、総務・経理）、事務職（一般事務）（※試用期間3カ月 ※労働条件の変更なし）
勤務場所	本社・工場（徳島県内1工場1事業所・転勤なし）
勤務時間	7:50～17:15
休日・休暇	日曜、祝日、会社指定土曜日（年間休日：116日）、有給休暇：10日（※入社6カ月後に10日付与／出勤率80％以上）、休暇制度：GW休暇、夏季休暇、年末年始休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇
昇給・賞与	昇給年1回、賞与年2回
諸手当	家族手当、通勤手当、住宅手当ほか
福利厚生	社会保険完備、退職金制度、人間ドック、クラブ活動（釣り、生花、キャンプなど）、社員旅行ほか

採用 新卒

株式会社 アトム

「交通インフラ」で安全・快適な道路環境を提供する技術者

人々の「道しるべ」をつくるのは若手が活躍する和のあるチーム

現在、NEXCO西日本令和5年度四国支社管内標識工事を担当している多田哲也さん（42歳）、藤川翔さん（30歳）、久米祐介さん（27歳）。そして、その標識の設計を担当する技術部の大崎颯也さん（24歳）。20代、30代を中心とした若いチームで、四国内の高速道路料金所のETC専用化に伴う標識取替工事を進めている。「特殊で専門性が高い仕事」というイメージだが、現場で活躍しているのは意外にも若いメンバーたちだ。「田舎暮らしがしたい」と大阪から徳島へ移住してきた久米さんの前職はホテルマン、Webデザイナーとまったくの異業種。縁があってアトムへ入社し、設計を半年、現場を1年半経験して2年目を迎えた。「設計も工事も、どちらもモノが出来ていく過程が見えて達成感が味わえる」と仕事の楽しさを表現する。技術部の大崎さんも入社後、イチから道路標識設計を学んだ。現在では標識の製作や材料の準備なども担当し、現場へバトンを繋ぐ役割を果たしている。若い社員の成長を支えるのは、チームを率いる多田係長だ。「若い社員には家族を大切にしてほしい」と、常日頃からコミュニケーションや後輩たちへの細かいフォローを欠かさない。今回初めて工事現場の責任者である「現場代理人」になった藤川さんは、「夕方になると、多田さんが『早く終わって子どものお迎えに行ってやりな』といつも声をかけてくれる。仕事の面でも人間性においても、目指すべき背中です」と誇らしく答えてくれた。

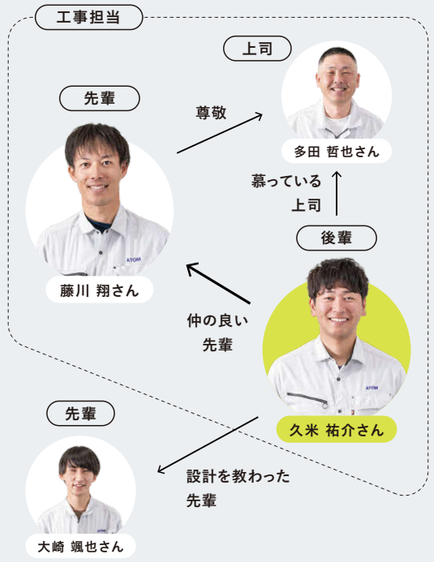
自社製作工場を構える アトムならではの提案力と対応力

道路の標識や路面標示、案内看板、防護柵、点字シートなど、道を走れば至るところで目にするものばかり。アトムはこれらの「交通インフラ」と呼ばれる分野で、安全施設工事を軸として半世紀以上の実績を持つ。本社のある徳島以外では国内に4カ所の営業所・事務所を構え、関東、関西、中四国の工事を請け負う。工事の発注者は、国・県・市町村、NEXCO、警察など公共工事が大半を占めている。幹線道路の安全な環境をつくる工事に関わるので「社会に大きく貢献していることを実感できる魅力的な仕事」と、若手の社員たちも口を揃える。また、四国内では珍しく道路標識製作自社工場を持っており、工事に用いる道路標識、案内板などは100%自社製作。企画→設計→製作・施工→メンテナンス・維持修繕まで一気通貫で提案できるのがアトムの強みだ。工場と営業、工事部門が連携し、お客さんの要望に柔軟でスピーディに対応することができるので、公共工事のような大規模な工事から商業施設、店舗のサイン工事、駐車場整備まで幅広く展開している。専門性のある職種だが、久米さんや大崎さんのように未経験から技術者を育成する環境を整えるなど、若手の採用や育成にも力を入れ、2022年にはユースエール企業に認定された。四国内だけをみても高速道路の新設工事は今後も進んでいく。新しい道路が作られるその先には、アトムの若手社員たちの活躍の場がどんどん広がっている。

社内相関図

若手技術メンバー

先輩・後輩の仲は良いが、オンオフがはっきりとしているという。夜間工事や出張など大変なこともあるが、そんな時こそチーム力の良さが発揮されている。



「仕事もプライベートも何でも相談し合える職場をつくりたい」と、働きやすい環境づくりに先輩も後輩も同じ気持ちで取り組んでいる。

高速道路や国道など、道路標識工事を中心に展開して創業から58年を迎えた。現在では構造物の補修や下水道分野にも事業を拡大している。

DATA

株式会社 アトム

TEL.088-633-1110

設　立	1967年2月
代表者名	代表取締役　東 久雄
住　所	徳島県徳島市南島田町4-24-1
営業時間	8:15～17:15
休　日	土曜、日曜、祝日
事業内容	コンクリート補修、道路区画線、道路標識、防護柵フェンス、遮音壁、トンネル内装、非破壊試験など
支店等	［営業所］東京、福岡、大阪 ［事務所］高松、中島田（徳島） ［製作所］徳島市応神
募集職種	総合職
勤務場所	本社
勤務時間	8:15～17:15
休日・休暇	土曜、日曜、祝日（年間休日120日）
昇給・賞与	昇給年1回、賞与年2回
諸手当	通勤手当、家族手当、法定資格手当
福利厚生	慶弔見舞金

株式会社 エス・ビー・シー

手がけるのは“未来のまちづくり”。新しい地図に自分の仕事を刻む

ワクワクする仕事が イキイキとした地域と社会に繋がる

インフラマネジメント部に所属し、地すべりや橋梁など暮らしの基盤となるインフラの点検業務に勤しむ中川陸さん（25歳）。大学時代は経済学部の文系出身だが、「何か人の役に立つ仕事がしたい」という思いを抱いて、エス・ビー・シーの企業説明会に参加したそうだ。そこで聞いた「自分が実際に行った業務で、未来に形を残すことができる」という言葉と、社員の明るい雰囲気に惹かれて3年前に入社。今は出身地である阿南市の現場にも足を運ぶことがあるそうで、「故郷の〝まちづくり〟に少しでも貢献することで、恩返しになれば」と仕事にやりがいを感じている。

土木関係の仕事をしていた祖父と父を幼いころから見ていて「かっこいい」と思っていたという逢坂愛里さん（19歳）は、自らも高校で建設課の土木コースを専攻。若手が多く、仕事しやすい環境が整っていたエス・ビー・シーに入社したのも自然な流れだったという。現在はICT・測量部に所属し、現場でドローンやレーザースキャナーを使用した測量と3D設計図の作成などが主な仕事で、工事に至るまでの重要なセクションを担当。期待のルーキーに今後の目標を尋ねると、「いろいろな仕事を早く覚えて、任されれば丁寧に早くこなせるようになりたい」と、頼もしい答えが返ってきた。部署は違えど取り組むのは、活き活きとした地域と社会を実現する「未来のまちづくり」。二人が歩むその足あとが、新たな地図に刻まれていく。

コミュニケーションを深め 若手社員が活躍できる会社へ

道路・河川・橋梁・砂防など、人々の生活を支える社会資本の整備を手がけるエス・ビー・シー。昭和44年に地質調査業者として産声をあげ、現在では企画・設計・調査・施工、そして維持管理までを一貫して行う建設部門のトータルソリューション企業だ。今や事業エリアは全国に広がり、リニアモーターカー計画路線での大規模な調査やメタバースの構築など、最新技術を用いたプロジェクトにも携わっているという。事業拡大と企業の発展を支えてきたのは新技術の開発や最新機材の導入はもちろん、若い世代を含めた社員みんなが活躍できる環境を育んできたからこそ。社長も交えた若手中心の勉強会など、未経験や文系出身でも入社してから学べる機会が設けられ、資格取得を支援するサポートや手当も充実。また建設に関わる業務全般を行う会社だからこそ求められるのは、専門性の異なる部署間の繋がりと、社員同士のコミュニケーション。花見やバーベキュー、社員旅行など2カ月に1回はイベントが行われ、部署の垣根を越えて社員が親睦を深めているそうだ。

仕事と地域への理解を深める 趣向を凝らしたインターンシップ

女性も含めた20〜30代が数多く在籍しているエス・ビー・シーでは、さらなる事業の拡大を支える新たな人材を求めてインターンシップにも積極的に取り組んでいる。2018年には産・学・官で連携し、学生たちが地域の自然や魅力をドローン撮影してPR動画を制作するインターンシップを実施した。この試みは仕事・業界・社会への理解を深めることに貢献したインターンシップ・プログラムを表彰する「インターンシップアワード」で、国内の有名企業が居並ぶなか入賞。つねに新たなことにチャレンジし続ける姿勢は、様々な場面で評価を受けている。

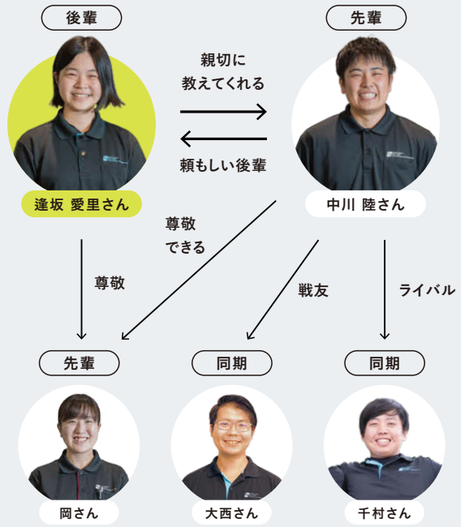
未来へ繋がる社会資本の整備という、暮らしの根幹を半世紀以上にわたって支えてきたエス・ビー・シーの挑戦は、これからも続いていく。

社内には社員同士の交流の機会を生むため、2人で社員証をかざすと二人分のドリンクが無料になる自動販売機も設置。洗練された憩いの空間は、情報交換やコミュニケーションを深める場にもなっている。

社内相関図

エス・ビー・シーの若手社員

専門性の異なる業務だからこそ、社員同士のコミュニケーションが大切だという。部署から部署へ大切なバトンを渡す気持ちで、仕事が進められているそうだ。



DATA

株式会社 エス・ビー・シー

TEL.0883-52-1621

設立	1969年12月
代表者名	代表取締役　木村 充宏
住所	徳島県美馬市脇町西赤谷1063-1
営業時間	8:00〜17:00
休日	土曜、日曜、祝日
事業内容	建設コンサルタント業、地質調査業、測量業、建設業（特定）
支店等	徳島支店（徳島市応神町）、三好営業所
募集職種	技術職（設計・地質調査・測量・維持管理・システム開発） 営業職（営業・人事・広報）
勤務場所	本社（美馬市脇町）、徳島支店（徳島市応神町）
勤務時間	8:00〜17:00
休日・休暇	土曜、日曜、祝日、夏季・年末年始休暇、特別（結婚・出産など） 育児、生理、介護、子の看護、母性健康管理のための休暇 ほか
昇給・賞与	昇給年1回（4月）、賞与年3回（8月、12月、2月）
諸手当	役職、資格、通勤、特別、宿泊、食事、試験支援、住宅手当 ほか
福利厚生	各種保険、上乗せ退職金、財形貯蓄、健康診断、傷病見舞、残業時間短縮制度、ノー残業デー、社内イベント多数あり（4月：お花見、6月：社員旅行、8月：バーベキュー、10月ボウリング大会、12月：忘年会 ほか）

採用 新卒

株式会社 大竹組

ICT活用により日々進化する土木の現場で光る若い力

大竹組の次なる成長を支えるキーパーソンたち

建設の現場で今最も必要とされているのは若い力だ。その理由は「若くて体力があるから」ではない。スマホが当たり前の世の中になったように、建設の現場でもデジタル化が進んでいる。ドローンによる測量や3次元の設計など、ICTを活用した技術は日々進化しており、それを上手に使いこなすのが若者なのだ。徳島県でいち早くICT技術を建設プロセスに取り入れる「i-Construction」を導入した大竹組。なかでもパイオニア的な存在なのが、中岡利憲さん（32歳）だ。この若さで直轄工事（国の公共事業）の所長を務め上げている。そんな中岡さんのもと、入社3年目となる船本陽都さん（20歳）と佐藤祐太さん（21歳）は一人前の土木技術者を目指している。ふたりとも阿南光高校 都市環境システム科を卒業後、大竹組へ就職した。きっかけは学校で行われた出前授業。大竹組では徳島科学技術高校、つるぎ高校、阿南光高校への出前授業に毎年協力しており、次の担い手となる高校生たちに、進化する土木や仕事の魅力を伝えている。最新の機械、リアルな土木の現場、そして最先端のICTの世界にワクワクした彼らが、卒業して3年経った今、今度は大竹組の社員として高校生に伝える側になった。「竣工して、構造物ができたときに本当に感動する」と目を輝かせるふたり。「あと数年後、ふたりが現場の責任者になった時には、涙が出そうになるくらい感動も倍増するよ」と、優しく中岡さんがほほ笑む。

創業から100年を超える大竹組が土木の新時代を築く

100年の歴史を持つ大竹組は牟岐町を拠点として、国や県などの公共工事を担う。その技術力は四国内でも評価が高く、5年連続で工事評点はトップレベルだ。ICTを積極的に取り入れた工事ができるのが大きなポイントで、平成31年には四国で唯一「i-Construction大賞 優秀賞」を受賞した実績を持つ。以前は2次元だった測量や設計データを現在では3次元のデータに起こす。それをバックホーなどの重機へ送信すると、現場経験が少ない若手でも施工を行うことができるようになった。こうして若手が活躍できるフィールドを広げたことで、社員の約4割強が20～30代と建設業界では珍しく多く若手が在籍するのも納得だ。また、ICT導入により技術面だけではなく、働き方も大きく躍進した。ひと昔前は大きな測量機器を抱え1日かけて山へ登っていたが、山に登らずともドローンひとつで短時間で測量が可能に。3Dの図面をもとに工事を行うことで現場作業もずいぶんスムーズになった。こうした業務の改善が図られたことで、完全週休2日制を実現。残業もほとんどなく、有休消化率も80%という。仕事の役割分担が明確になった分、ベテランの職人が若手を頼る姿が見られるようになった。逆に資格取得のために、ベテラン社員たちが若手のサポート役を担う。大竹組ではベテランと若手がお互いに無いものを補い合い、徳島の未来をつくっていくために今日も汗を流す。

社内相関図

大竹組工務部のメンバー

若手の技術者や女性の施工管理者も在籍する大竹組の工務部。直近では牟岐バイパスの施工が進む中、関連する工事を担当していた。最先端技術で地域づくりに貢献する。

徳島県内の土木業界では「大竹組といえばICT」というイメージが定着するほど。社員たちは最新技術の向上を目指し、日々業務に取り組んでいる。

以前は熟練工しか扱えなかった土木現場の重機だったが、ICT導入により若手社員たちが最新の機器を器用に扱い、今日も地域の安全や防災に貢献している。

DATA

株式会社 大竹組

TEL.0884-72-1188

設立	1921年5月
代表者名	代表取締役　戎谷 一平
住所	徳島県海部郡牟岐町中村本村85-1
営業時間	8:00～17:00
休日	土曜、日曜、祝日、GW、夏期休暇、年末年始休暇
事業内容	建設業
支店等	なし
募集職種	現場監督見習い、土木作業員、建設機械オペレータ
勤務場所	牟岐町を中心とする海部郡内、徳島県南部
勤務時間	8:00～17:00
休日・休暇	土曜、日曜、祝日、GW、夏期休暇、年末年始休暇
昇給・賞与	昇給あり（前年度実績4.0%）、賞与あり（前年度実績年2回あり）
諸手当	特になし
福利厚生	各種社会保険完備、中小企業退職金制度、財形貯蓄制度ほか

採用 新卒&中途

株式会社 オカベ

徳島から全国へ。若い力が「半田そうめん」の未来を担う

同学年の3人が育むのは ふるさとが誇る伝統的な食文化

生まれ育った地元で働きたいと考えていた邉見香那さん（25歳）は、子どものころから食べ親しんだ「半田そうめん」に携わりたいと7年前にオカベに入社。主にオペレーターとして電話対応などを担当し、今では毎日多くの受注業務をこなしているという。同期の鈴木彰人さん（24歳）も就職活動のなかで製造業に興味を抱き、地元の食文化を継承する道を選択。日々試行錯誤を繰り返し、麺の製造や出荷、機械修理など多岐にわたって活躍している。一方、製麺工の嵯峨原大樹さん（24歳）は、3年前に思いがけず地元企業で働く人たちの優しさに触れ、転職を決意。「入社前、高校の同級生だった鈴木くんにオカベにはフットサルのグループがあることを聞いて参加したんですが、そのときにオカベの人たちが気さくに話しかけてくれて、アットホームな雰囲気がすごく魅力的に感じました」と、当時を笑顔で振り返る。

3人ともが感じるオカベの魅力は、部署や世代の垣根を越えてコミュニケーションをとり、何でも相談できる職場環境だ。鈴木さんが語る言葉にも、壁のない温かな社内風土がにじみ出る。「製麺の部署ではお客様の声を直接聴く機会はないんですが、『美味しかった』という喜びの声をオペレーターの邉見さんたちが僕らにも伝えてくれるので、仕事のモチベーションにも繋がっています」。地域に根差した食文化を全国に届けようと若い力が躍動する働き方が、のどかな県西部の町にはある。

株式会社 オカベ

豊かな自然の恵みと厳選素材 伝統と革新が生み出す「オカベの麺」

美馬郡つるぎ町の半田地区で約300年前から受け継がれてきた「半田そうめん」。普通の手延べそうめんに比べてひと回りほど麺が太く、弾力のある強いコシとつるりとした喉ごしが特長だ。1987年に創業した株式会社オカベは、製麺業としては後発の会社だからこそ「とにかく美味しいもんを作らなあかん」という先代からの想いを受け継ぎ、厳選された素材と伝統的な製法を守りながら1日約7万1000食の「オカベの麺」を製造。約130人いる従業員のうち4人に1人が10代～20代で最高齢は74歳という幅広い世代が、地域の食文化を日本全国に届けている。

株式会社オカベがここ10年で急成長を遂げたのは、新しいことにチャレンジできる職場環境を常に醸成し、事業の拡大にともなって若手の採用や育成に注力してきたからこそ。ECサイトの改善やSNSの企画・運営をはじめ、プレスリリースの配信・イベント参加などの広報を担う「デジタルマーケティング・広報業務」においても、長期的なキャリアを形成するため30歳未満の若い人材を必要としている。専務取締役の岡部理恵さんは「田舎の会社でも地域にしっかりと根を張った働き方のなかで、みんなが活き活きと、それぞれの自己表現をしてほしい」と、さらなる高みを目指して新たな力に期待を寄せる。夢は「海外の人にもオカベの麺を味わってもらう」こと。近い将来、「半田そうめん」が世界に羽ばたく日が来るかもしれない。

嵯峨原さんと鈴木さんは高校の同級生、邉見さんとは保育所からの幼なじみという間柄。同学年の存在は、職場で顔を見るだけで安心できて互いの励みになっているという。

「社長自らが毎朝現場に来てくれて、明るい『おはよう』の挨拶で一日が始まるんです」と話す邉見さん。会社の顔であるオペレーター業務も手厚い社員研修があるので、未経験者でも安心して働けるという。

社内相関図

DATA

株式会社 オカベ

TEL.0883-64-3546

設　立	1987年7月
代表者名	代表取締役　岡部 洋史
住　所	徳島県美馬郡つるぎ町半田字東毛田48
営業時間	8:30～17:30
休　日	日曜、祝日
事業内容	麺類（半田そうめん・うどん・そば）の製造、販売、季節ごとの青果物の販売
支店等	徳島県美馬郡つるぎ町半田
募集職種	①デジタルマーケティング・広報業務（長期的キャリア形成のため30歳未満の方を優先）②事務・オペレーター業務
勤務場所	本社事務所
勤務時間	8:30～17:30（休憩80分 ※令和6年9月より休憩60分に変更予定）
休日・休暇	年間休日94日（※令和6年9月より年間休日105日に変更予定） 年次有給休暇、その他（自社勤務カレンダーによる）
昇給・賞与	昇給年1回（9月）、賞与年3回（7月、8月、12月　昨年実績：勤続5年でトータル5.5カ月分）
諸手当	交通費（上限7000円）
福利厚生	雇用・労災・健康・厚生、各種慶弔金、業務内容にかかわる各種セミナー受講や資格取得費用は会社全負担

採用 新卒&中途

株式会社 三友

目標は、みんなから頼られる住宅資材のエキスパート！

取り扱う住宅資材は無限大！家づくりの陰の立役者たち

入社1年目の湯浅駿さん（25歳）と工藤涼太さん（22歳）は、ともに中途で三友に入社。偶然にもどちらも親しい人の紹介が転職のきっかけとなった。湯浅さんは親戚が三友で工事の職人を務めており、工藤さんは三友の取引先の現場監督がたまたま工藤さんの友人だったそう。入社時期は1カ月前後するが、切磋琢磨する仲だ。工藤さんは資材流通営業部でドアや壁材、お風呂など家に必要な商品全般を工務店やハウスメーカーへ販売している。そんな工藤さんの先輩は、入社5年目の武田航太朗さん（27歳）だ。武田さんは新卒で三友に入社し、最初の1～2年は先輩のもとで仕事に従事。3年目から実質ひとりで担当を持ち、「住宅の骨組みから引き渡しの最後まで見届けられるのが今では楽しいです」と充実した表情を見せる。一方、建築施工営業部の湯浅さんは、漏水防止のリフォームや新築の外壁・屋根など、家の外回り全般の営業を担当。湯浅さんも「カタチに残るものを作るのがやりがい」と語る。3人が取り扱う商品は数えきれないほどあり、とにかく覚えることだらけ。工藤さんは常に部厚いカタログを2冊持ち歩き、時間を見つけては分からない単語を調べてメモを残しているという。これだけ聞くと大変そうだが、本人は「毎日打合せ内容が変わるので刺激的！」と、楽しそうだ。三友で働く若手たちは仕事に楽しく取り組んでおり、これからも眩しい笑顔で会社を盛り上げていく。

総合力でより良い提案を実現&若いパワーで会社の魅力を発信！

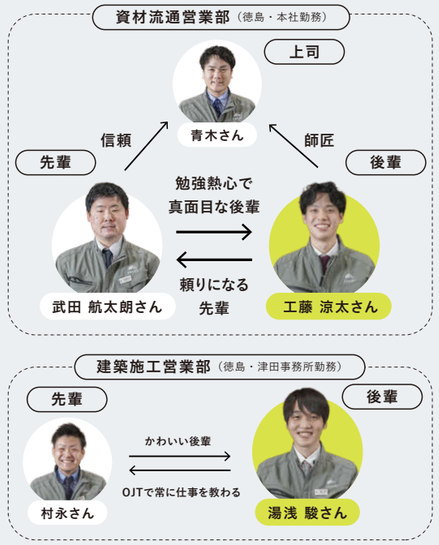
2022年10月に三友物産と三友ビルドが合併し、「三友」として新しい歴史を刻み始めた。もともとは三友物産として創業し、1991年に工事部門である三友ビルドを分社化。それぞれの得意先であるハウスメーカーや工務店が同じだったこともあり、合併でより質の高いサービスを総合力で提供するためにパワーアップした。現在、徳島と香川で公共施設から戸建て住宅まで、様々なメーカーの商品を販売・施工する建築資材の総合企業だ。なかでも強みは、西日本最大級の自社ショールームを保有していること。各メーカーの商品が一堂に会しており、これから家を建てる人たちが目を輝かせて商品を見比べているという。

社内では働き方改革にいち早く取り組み、コロナ禍以前よりリモートで働ける環境の整備を進めてきた。また、段階的に残業時間を短縮させる仕組みにも会社一丸となって取り組み、ワークライフバランスが取れた働き方が実現しているという。さらに、営業拡大や働き方改革のために、社員参画の社内プロジェクトをいくつか立ち上げている。そのうちのひとつ、若手中心のプロジェクトではショールームの利用促進のために会社のSNSをつくり、運用も若手が担当している。日々、社員たちが活き活き働いている様子が発信され、会社として目指しているボトムアップの組織に着実に近づいている。これからの三友を支える若い力は頼もしい。

社内相関図

営業担当メンバー

各課それぞれ2～3人で構成されていて、20代若手社員たちのすぐ上の先輩は30代の中堅だという。先輩たちも未経験から建築を学んだ人ばかりで、後輩の立場に共感しながら仕事を教えてくれる。



三友の面接は「NG逆質問なし！」というスタンスで、入社後のミスマッチがないようにしっかり応募者の質問に答えてくれるので、安心して入社できたという。

西日本最大級のショールーム「GROUND WORK」。本社事務所に併設されており、各メーカーの商品を実際に見て触れて決めることができる。

DATA

株式会社 三友

TEL.088-664-6688

設立	1959年6月
代表者名	代表取締役社長　黒髪 芳彦
住所	徳島県徳島市東沖洲2-16-3
営業時間	8:30～17:30
休日	土曜、日曜、祝日（土曜は会社指定の日）
事業内容	住宅・非住宅用建材、アルミサッシ、住設機器の販売及び施工
支店等	建築施工事業部（徳島市津田海岸町）、阿南営業所、西部営業所、高松営業所
募集職種	営業、施工管理、物流スタッフ（中途採用は試用期間3カ月）
勤務場所	本社・営業所
勤務時間	8:30～17:30
休日・休暇	年間休日108日、計画年休5日、有給休暇（時間有給有り）、リフレッシュ休暇、慶弔休暇、産前産後・育児休暇
昇給・賞与	昇給年1回（6月）、賞与年2回（7月・12月）
諸手当	業務手当、役職手当、営業手当、資格手当、家族手当、通勤手当
福利厚生	社会保険、リフレッシュ休暇（祝い金有り）、企業年金基金、退職金、社員懇親食事会、徳島ガンバロウズ観戦チケット

採用 中途

株式会社 電脳交通

DX化でタクシー業界と地域交通の革新に挑む

変化する課題に応え続けることが地域への貢献に繋がっていく

「大手企業からいただいた内定を辞退して電脳交通に入りました」。急転直下の入社エピソードは、小林舞さん（25歳）の熱量と行動力の表れだ。大学時代に海外の自動車産業について学び、自動車業界に絞って就活を行っていた小林さんは大手自動車メーカーから内定を得た。しかし、長野県出身で地方公共交通の不便さを幼いころから感じて育った原体験から「地域交通移動の自由な選択肢を創りたい」という想いが消えず、メディアで知った電脳交通の門を叩いたそうだ。今は採用セクションに在籍し、コールセンター事業（タクシー会社の配車業務受託運営サービス※）のアルバイト採用や、正社員の入社対応などを行っている。鈴岡大明さん（35歳）は東京の大学を卒業後、政府系の金融機関で勤務。ベンチャー企業への投資などを通じて様々な会社を見るうち、間接的ではなく自分で直に事業と関わる立場に身を投じたいと転職を決意した。現在はファイナンスチームで資金調達や事業計画を立て、目標到達への道筋を描くために奮闘中。そんな二人に温かい眼差しを向けるのが、自身も転職組でコールセンター事業などを統括する中西大輔部長（42歳）。コールセンター事業では「タクシーの配車アプリなどDX化を進める半面で、デジタル化の波に取り残された方たちの助けや社会貢献に繋がれば」と、顧客目線を忘れない。地域への貢献や変化する課題に応え続ける柔軟さとスピード感が、電脳交通を交通ビジネス界のリーディングカンパニーたらしめる所以だ。

ベンチャー企業としての矜持がチャレンジし続ける風土を育む

「タクシーのDXを推進し、地域交通を支え続ける」というミッションを掲げ、2015年に設立された電脳交通。クラウド型タクシー配車システムの開発・提供とタクシー会社の配車業務受託運営サービスを主な事業とし、地域交通の革新に挑んでいる。現在、配車システムを導入するエリアは45都道府県を突破し、公共交通の一翼を担うタクシー業界の運転手不足や市場の縮小といった地方都市が抱える課題の解消にも貢献。ベンチャー企業としての矜持がチャレンジし続ける風土を育み、徳島が生んだソリューションが今や日本全体の課題解決にも希望の光を灯す。

そして、業界に新たな風を取り込もうと、積極的に外部から様々なキャリアを持つ人材や若手を登用してきたことも躍進を支えてきた理由のひとつ。資金調達をテクニカルに進められる人材や、若手を積極的に採用してきた実績のある広報や人事パーソンが、それぞれ培ってきたキャリアを活かして活躍している。安定した企業を離れベンチャーへ身を投じた中西部長も、「今後タクシー業界や交通ビジネスに大きな変化が訪れるなかで電脳交通が中心にいるために、持っているスキルをすべて使って、常にフル回転していられる感じが好きで楽しい」と話す。「事業が拡大するなかで新たな仲間を求め、頼れる仲間が増えればまた新たなことに挑戦できるようになる」。電脳交通が歩む成長の道のりは、どこかアドベンチャーゲームに似た面白さがある。

社内相関図

電脳交通メンバー

電脳交通では多彩な働き方や考え方を重視して、適材適所で個性が活かせる業務に人材を配置。それぞれの役割が細分化されていくなかでも、縦割りではなく部署間で密にミーティングが行われ、事業サイズは大きいけれどワンチームで動けるのが強みだという。

※コールセンター：「お客様とコミュニケーションを取り、最適なご提案をすること」をあるべき姿と捉え、電脳交通社内では、コールセンターではなくコミュニケーションセンターと呼んでいます。本記事では一般的な呼称である「コールセンター」と表記しております。

それぞれの業務はリモートでも可能だが、仕事をスムーズに行うために対面でのコミュニケーションも大切にしているという。2023年9月に本社オフィスを徳島駅前・アミコ東館6階へ移転してから、顔を合わせる頻度も増えたそうだ。木の温もりが感じられ、洗練された機能美を有する新オフィスにも電脳交通の社風が滲む。

コールセンター事業は全国で直営3拠点・フランチャイズ5拠点のコールセンターを運営し、約100名のスタッフが対応。高齢者などがDX化の陰で不便さを感じないよう、地方交通の重要な役割を担っている。

DATA

株式会社 電脳交通

TEL.088-679-1601

設　立	2015年12月
代表者名	代表取締役　近藤 洋祐
住　所	徳島県徳島市寺島本町西1-5 アミコ東館6階
営業時間	9:30～18:30
休　日	土曜、日曜、祝日
事業内容	タクシー配車システム開発・提供 タクシー会社の配車業務受託運営サービス
支店等	徳島本社、東京支社、岡山コールセンター、福岡コールセンター
募集職種	徳島本社：エンジニア、カスタマーサポート／購買事務、プロダクトマネージャー、地域交通コンサルティング営業、インサイドセールス（一部職種リモート可）、フィールドセールス／東海エリア（リモート可）（各試用期間3カ月）
勤務場所	徳島本社、東京支社またはリモート　※職種により応相談
勤務時間	フレックスタイム制（※コアタイム：11:00～15:00、フレキシブルタイム：7:00～11:00・15:00～22:00
休日・休暇	年間休日124日
昇給・賞与	昇給年2回、賞与（昨年実績）年2回
諸手当	スキルアップ手当（5万円まで／年）
福利厚生	社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険）、交通費支給（上限10万円まで）

株式会社 広沢自動車学校

若い力と新しい発想で「広沢母校」の輪がもっと広がる！

広沢で働くワカモノは、自分の「興味」を「仕事」に変える

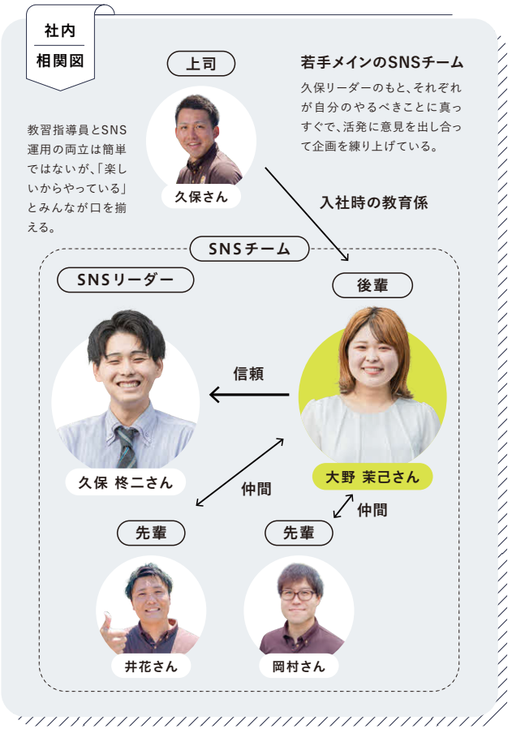
広沢自動車学校で教習指導員として励む傍ら、YouTube・SNS全般を手掛けるチームにも所属する久保柊二さん（29歳）と大野茉己さん（26歳）。運用が始まったきっかけは「会社でYouTubeを立ちあげたいけど、誰かやりたい人いる？」という祖川社長のひと声だった。もともとYouTubeが好きだった久保さんは「やってみたい！」と一番に手を挙げ、自ら企画・出演・編集を担当。現在、2万人超えの登録者を有する「教習所チャンネル」では、広沢自動車学校が目指す「初心運転者の交通死亡事故0」のために安全運転の啓発や、検定クリアのコツなど、運転に不安を抱える人に寄り添った動画を配信している。2年前に入社した大野さんもTikTok好きが功を奏し、SNSチームにジョイン。仕事と趣味の境界線がなく、どちらの仕事も「楽しい！」と口を揃える。「今まで積極的なタイプではなかったのですが、広沢では提案したことを否定する人がいません。『じゃあ、やってみたら』と背中を押してくれる」と大野さん。今では、社内のイベントやプロジェクトなどあちこちに参加をしているようだ。新しく合宿を立ち上げる主担当でもある。

また、ふたりは教習所内でも生徒たちに寄り添った広沢流の指導で人気を集める。「教育学部の学生から『先生みたいな先生になりたい』とお礼の手紙をもらったことが仕事の原動力のひとつ」と、久保さん。温かくて楽しい仕事が、ここには詰まっている。

20代も女性も活躍する教習所！社員の主体性で新しい事業も誕生

教習所の卒業生が「免許を取得できたよ！」と初めての運転免許証を持って報告に来る。夏休み・冬休みなどの長期休暇に指導員に会いに帰って来る。そんな光景、見たことがあるだろうか。「広沢母校」とは、広沢自動車学校の生徒と先生との絆を象徴する言葉だ。生徒との繋がりがここまで強い教習所は、全国的にみても珍しいだろう。年間1000人を超える卒業生を輩出するほど人気の広沢自動車学校だが、実は若い人が「働きたい」と思う職場としても年々人気を集めている。令和5年4月には4人の大卒・1人の高卒、計5人の新卒社員を迎えた。現在、スタッフの約3割が20代。また、県内でも珍しく女性指導員の人数が多く、子育て中のママも在籍している。教習所の指導員と言えば、男性が多いイメージを持つ人も少なくないだろう。業界では指導員の高齢化が進んでいる。また、特殊な業界だけに厳しいイメージや、入りづらさを感じるなどの課題があった。そこで、広沢自動車学校では、AT限定でもペーパードライバーでも関係なく、「人に何かを教えるのが好き」「人と関わりたい」という人や、人柄で採用に取り組んでいる。「極端なことを言えば、『おしゃべりが好き』、それでOKです」と、営業・採用リーダーの久保翔太さん（30歳）。技能や資格は入社後の研修でしっかりフォローをする体制を整え、若手の教育係として広沢イズムを若いメンバーに伝承している。「運転の技術、ハンドルの回し方も大事です。でも、それ以上に大切なのは、生徒の皆さんに広沢に帰って来てもらいたい。『広沢で良かった』と卒業していってもらいたい。僕たちが一番大切にしたい理念は、〝広沢母校〟なんです」と、優しい目をして話してくれた。また、祖川社長の柔軟な発想や若手のやる気によって自動車学校の域を超え、映像学校やドローンスクールなど、新しい事業もどんどん拡大している。社員の「やりたい！」という声をしっかり拾う社風だからこそ、新しいことにも楽しくチャレンジできるのだろう。本気でやりたい気持ちがあれば自分が会社の一部を作っていく、そんな働き方ができる場所だ。

「誰もが通える優しい教習所にしたい（大野さん）」、「SNSを使って新しい仕事に挑戦したい（久保さん）」と目標を語る声も弾む。



DATA

株式会社 広沢自動車学校

TEL.088-631-0321

設　立	1963年7月
代表者名	祖川 嗣朗
住　所	徳島県徳島市南田宮2-4-3
営業時間	8:30～17:30
休　日	年末年始
事業内容	徳島県公安委員会指定自動車教習所
支店等	なし
募集職種	教習指導員（試用期間3カ月）
勤務場所	本社
勤務時間	基本8:30～17:30　※残業あり
休日・休暇	年間休日94日、1年間の変形シフト制を採用、有給休暇、慶弔休暇、出産・育児休暇
昇給・賞与	賞与年2回（業績により決算賞与あり）
諸手当	家族手当、交通費手当、資格手当、別途残業代支給
福利厚生	社会保険完備、交通費規定内支給

採用 新卒&中途

株式会社 ファルコン

地域の安全を守る技術者と社員の気持ちに寄り添う会社の制度

「仕事も遊びも全力で」安全を担う若手技術者たち

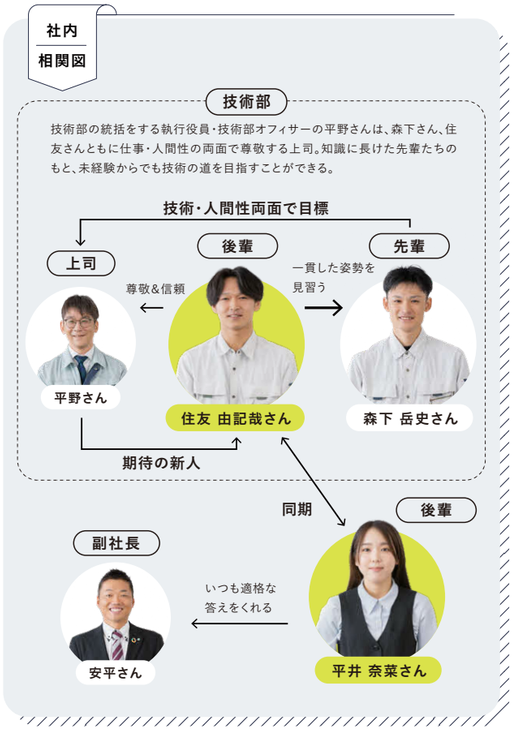
普段何気なく通っている道路やトンネルの点検・補修、河川・砂防施設の設計など、幅広い分野で地域の安全を支えるファルコン。そんな技術部の若きリーダーとして活躍しているのが森下岳史さん（27歳）。大学時代、環境に関わる分野に興味を持ち始め、建設コンサルタントの道を選んだ。土砂災害対策についての調査・点検や地すべりなどを防ぐ構造物の設計に携わり、「自分の仕事が人の役に立ち、地域の安全を守っていることが何より嬉しい」と語る。もう一人、若手のホープとして期待されているのが最年少技術者である住友由記哉さん（21歳）。主に測量、橋梁や高速道路の点検を担当。「一般の人が使う場所を安全に保てるよう心がけている」と最年少ながらも大きな責任を背負っている。入社のきっかけは高校時代にファルコンの社員が授業でCADを教えてくれたこと。「ファルコンでは3Dレーザースキャナーやドローンなどの最先端技術に触れられるのも魅力」という。技術者たちをサポートしているのが総務部の平井奈菜さん（25歳）。「若手メンバーは休日にボウリングしたりキャンプに行ったり、仕事以外でも本当に仲良しです」と笑顔で語る。それもそのはず、ファルコンには〝ありがとうカード〟というものがあり、社員同士で日頃の感謝をカードに書いて渡す習慣がある。ほかにも、〝親孝行月間〟を設けるなど、社員を家族のように思う優しい取り組みが、会社全体を包んでいる。

社員の健康は会社の願い。様々なサポートでパフォーマンスUP！

建設コンサルタントという専門的な職種でありながら、県内外問わず、幅広い分野の人材が働くファルコン。2022年の社屋移転に伴い、社員の働く環境が以前と比べて格段に向上したという。新社屋はデジタル対応で業務スピードがアップ。広いミーティングルームでは研修や勉強会を行うなど、コミュニケーションの場としても活用されている。ハード面だけでなく、がんを調べる脳ドックと胸腹部CT検査を全額会社負担で行ったり、管理職が社員のメンタルヘルスをチェックするなど、健康面でも社員を大いにサポートしている。「みんなが健康であることは会社にとっても願うべきこと。社員が働きやすい環境で、もっとパフォーマンスを上げられるような試みをしていきたい」と副社長の安平憲司さん（40歳）。そんな取り組みが功を奏し、健康経営優良法人認定制度において2年連続で「健康経営優良法人」の認定を受けた。また、社員のこうして欲しいという声は〝改善提案書〟を通して上司らに届き、「社員の声を汲み取って、必要だと思うことは改善していってます。最近提案書が少ないので満足度はアップしてるのかな？」と笑う。さらに、資格取得に向けてのバックアップ体制も万全。熟練技術者が過去にしてきた仕事をまとめて独自の参考書を作り、それを元に若手社員が勉強したり、先輩社員が先生になって資格の勉強を教えるなど、あらゆる面で様々な関わり合いがあるのもファルコンならではだ。

同僚でも上司でも「何でも気軽に相談できる」というファルコンの社員。残業していたら「早く帰れよ～」と先輩たちは優しく声をかけてくれる。

「人生は楽しいのが一番。時間を上手く使って全力で仕事して、プライベートでも全力で遊んでほしい」と副社長。経営理念の内容も社員に募るなど、社員の声を徹底して拾い上げている。



DATA

株式会社 ファルコン

TEL.088-678-7610

設　立	1989年4月
代表者名	代表取締役社長　古川 清司
住　所	徳島県徳島市南島田町2-84
営業時間	8:15～17:15
休　日	土曜(月1回第3土曜出社あり)、日曜、祝日、年末年始
事業内容	建設コンサルタント
支店等	阿波支店
募集職種	①技術職 ②営業職(試用期間は3ヵ月/労働条件の変更なし)
勤務場所	本社
勤務時間	8:15～17:15
休日・休暇	休日　土曜・日曜・祝日(月1回土曜出勤あり)、年末年始(12/29～1/3)、GW(カレンダー通り) 休暇　慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇
昇給・賞与	昇給年1回(4月)、賞与年2回(7・12月)、業績により決算賞与あり(3月)
諸手当	通勤手当、資格手当、運転手当
福利厚生	社会保険完備、退職金共済、災害補償制度、表彰制度、資格取得支援制度、若手社員の借り上げ社宅制度、子どもの入学祝金制度、積立NISA奨励金

株式会社 フジみらい

「発注者支援業務」で徳島の発展を築き、安全を守る

文系出身から土木の道へ！自分の可能性を自ら切り拓く

7年前から「文系・理系不問」の採用に注力してきたフジみらい。大切なのは、技術を学んできたことではなく、「社風に合う人材かどうか」だ。入社1年目の下園優大さん（21歳）と、彼のOJTリーダー・北野景士さん（25歳）も文系出身だが、技術職「発注者支援業務」の道を選んだ。

「発注者支援業務」とは、主に国や県などの行政機関が推進する公共事業を、技術・事務両面でサポートする仕事だ。河川やダム、道路などの分野で、私たちの生活基盤を支える「なくてはならない仕事」と言える。ふたりの配属先・技術7課は計画課と調査課に分かれ、国が推進する道路の仕事を担当。北野さんは計画課で、国土交通省の職員さんと建設コンサルタントなどの業者とともに、渋滞緩和対策や、今後事業化される道路の計画に取り組む。一方、下園さんは両課の先輩たちの資料作成を手伝っている。配属されてまだ数カ月だが「何かできることはありませんか？」と、前のめりで仕事を掴みにいく姿勢は頼もしい。そんな姿を見て、北野さんは「人当たりが良く、しっかり者の後輩です」と称える。自分自身も文系出身だったからこそ、下園さんの気持ちを汲み取って指導ができる。まだまだ若い技術者の卵だが、仕事を語る目からは柔らかさの中にも「徳島の未来を築く」という責任感が伝わってくる。彼らの今後の成長は徳島の発展を築く礎となり、会社を支える逞しい力となる。

若手の採用・育成で土木業界全体の課題に取り組む

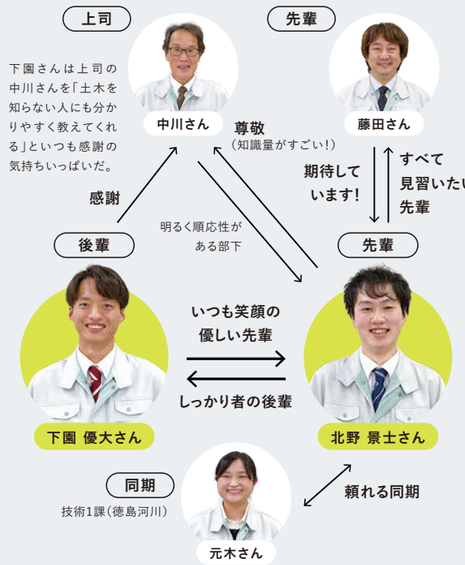
橋梁設計業で創業し、測量業、建設コンサルタント業へと発展させ、徳島の地域づくりに貢献してきたフジみらい。お客さまのニーズに対して期待以上に応えていく姿勢は、創業当時から変わらぬまま。その積み重ねで、今では行政の一番近くで公共事業に関わる「発注者支援業務」を主軸とし、システム開発でも行政の課題解決に取り組むなど、四国内で活躍の場を広げている。フジみらいが携わるのは吉野川・那賀川などの一級河川や、国道、ダムなど人々の生活に影響を与え、暮らしに直結するものばかり。仕事を通して社会への貢献を実感できるのが、この仕事の大きな意義だ。一方、土木業界全体でみると技術者・後継者不足が叫ばれ続けている。こうした課題を改善するために、7年前から若手の採用を強化。「地域に貢献したい」という思いとチャレンジ精神がある人を積極的に採用し、今では200人の社員のうち20代社員は約50人にものぼるという。

フジみらいの業務は様々な公共事業に携わる故、勤務場所は県内だけでも20カ所と広範囲に及ぶ。社員同士の繋がりを大切にするために、毎朝15分の短時間で全社員参加のWeb朝礼を実施。各部署の業務紹介をするなど、お互いの業務理解を深める時間となっているという。また、毎週水曜日はノー残業デーを設け、来年度から完全週休2日制にするなど、働き方改革も加速させている。

社内相関図

技術7課（道路）のメンバー

管理技術者である上司の中川さん、ベテランの先輩・藤田さんのもと日々、業務に取り組む。北野さん曰く、直属の先輩・藤田さんは仕事の進め方や、人との関わり方すべて勉強になる教科書のような存在という。



発注者支援業務は人と人をつないで仕事を進める必要があるため、コミュニケーション力が欠かせない。北野さんも下園さんも、素直で柔らかい物腰が仕事にも社風にも合っているという。

下園さんの同期、2023年度の新入社員は5名。配属先は河川、道路、公共事業の工事費算出などそれぞれ異なるが、勤務地が同じ同期とは昼休みに散歩するほど仲良し！

DATA

株式会社 フジみらい

TEL.088-664-7077

設立	1976年5月
代表者名	代表取締役社長　江崎 雅章
住所	徳島県徳島市東沖洲1-6-1
営業時間	8:15～17:15
休日	日曜、祝日、土曜（第3土曜を除く ※2024年度からは完全週休2日）
事業内容	発注者支援業務、建設技術支援、建設コンサルタント、システム開発
支店等	高松営業所
募集職種	技術職／発注者支援業務（技術資料作成等業務・積算技術業務・工事監督支援業務・公物管理補助業務）
勤務場所	徳島市、阿南市、他
勤務時間	8:15～17:15
休日・休暇	土曜、日曜、祝日、夏季・冬季・産休・育児・介護・年次有給休暇 他
昇給・賞与	昇給年1回、賞与年3回（4月、8月、12月）
諸手当	通勤手当、残業手当、役職手当、家族手当 他
福利厚生	社会保険等完備、退職金制度、資格取得支援制度、各種補助等

株式会社 マルハ物産

レンコンを通して食卓に届ける「おいしさ」と「楽しさ」

活発なコミュニケーションで製造現場をいつでも明るく

レンコンの水煮をメインに農産物の加工を行う生産事業部の柏木里織さん、浦松咲子さん、寒川航成さん。会社の魅力を尋ねると3人ともが「社内の雰囲気のよさ」と口を揃える。入社1年目、18歳の寒川さんは就活中に工場見学に訪れた際、賑やかで和気あいあいとしたムードが印象的だったという。現在はレンコン原料を様々なスライサー機器を用いてカットする作業を担当。熟練のスタッフでも苦戦するほど難易度の高いかつらむきの加工を任されている。途中で切れてしまうと商品として出荷できないため責任重大。かつらむきを担当し始めた当初は失敗も多かったが、この3カ月でメキメキと腕をあげて倍以上の加工スピードでさばけるようになるまで成長した。若い戦力として活躍している。

子育て中の浦松さんは入社2年目のパート社員。「子どもの急な発熱や学校行事で休むことになっても、みんな快く受け入れてくれて助かっています」と社内のアットホームな雰囲気を絶賛する。この環境づくりは、生産事業部で働く40人ものメンバーを束ねる次長・柏木さんが常日頃から意識していること。自分自身について「責任者というより、みんなのお母さん的存在かな」と優しい笑顔で語る。たくさんの子育て世代の女性が活躍している会社だからこそ、突発的な休みはよくあること。日頃から何気ない会話を交わし、困ったときに声をかけあって、何でも話しやすい雰囲気を作りあげている。

商品総数700種類以上！レンコンのプロフェッショナル

レンコンの生産から加工、販売までを一貫して担うレンコンのエキスパート企業。徳島県に所有する自社の畑に加え、中国にも生産拠点を持ち、年間8000トンのレンコンを取り扱う。主力商品はレンコンの水煮。乱切りや輪切り、ダイスカット、かつらむきなど多彩なカットを施し、用途に合わせてお惣菜を製造する「食品工場」や、スーパーなどの「一般量販店」に卸している。レンコンの加工品においては創業以来、トップランナーとして走り続けている。タケノコの水煮、鳴門金時ペーストといったレンコン以外の農産物を加工した商品も製造しており、近年では工場に乾燥機を導入。レンコンやビーツ、サツマイモなどの野菜を乾燥して細かく粉砕した「パウダーシリーズ」の製造にも注力。料理やドリンクにひと匙プラスするだけで手軽に野菜が摂取できると話題に。水煮レンコンに並ぶもう一つの柱となることを見据え、野菜の乾燥パウダーを使ったペットフードの開発を進めている。

2023年に職場環境をよりよくするために「改善提案箱」を設置したところ、毎月約30件の提案が入るように。さらに「働きやすい職場アンケート」を行い、職場に反映させる「組織育成課」を新設。社員の率直な声に耳を傾ける機会を増やし、年々働きやすさをバージョンアップさせている。これによって創業以来初めて社内運動会が開催され、大いに盛り上がったそう。

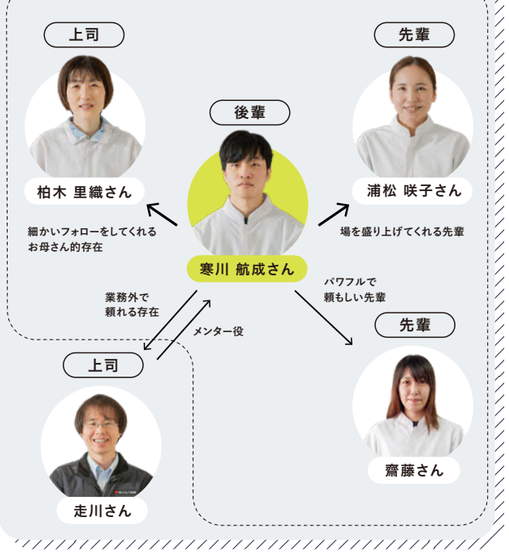
当初は力仕事が不安だったという浦松さん。まわりの女性スタッフが重たいコンテナをせっせと運ぶ姿を見ているうちに感化され、「今ではマックス20キロ持てます！」

生産事業部の現場の様子。慣れた手つきでレンコンに刃を入れているのが寒川さん。レンコンが欠かせないおせち料理のシーズンは特に忙しい。

社内相関図

生産事業部（加工担当）の皆さん

生産事業部の責任者・柏木さんのもと、女性スタッフを中心として徳島の名産品の加工を担当する部署。「立ち止まって挨拶をする」「真面目で細かいことにもよく気が付く」という寒川さんは、周りの先輩たちから可愛がられている存在だという。



DATA

株式会社 マルハ物産

TEL.088-699-2345

設立	1971年6月
代表者名	代表取締役社長　林 正二
住所	徳島県板野郡松茂町住吉4−3
営業時間	8:30〜17:30
休日	日曜、その他（会社カレンダーによる）
事業内容	農水産物加工食品の輸入、製造、販売
支店等	東日本事業所（茨城県土浦市木田余5036-1）
募集職種	品質管理、製造（試用期間3カ月）
勤務場所	本社
勤務時間	8:30〜17:30（品質管理）、8:00〜17:00（製造）
休日・休暇	日曜、GW、夏季休暇、年末年始休暇、年間休日113日
昇給・賞与	昇給年1回（7月）、賞与年2回（7月、12月）
諸手当	残業手当、通勤手当、勤続給、役職手当
福利厚生	あわーず徳島加入企業

採用 新卒&中途

四宮 優斗さん
［介護職員／入社9年目］
Kohai

梶田 茂雄さん
［管理者／入社12年目］
Senpai

医療法人 はやし会　社会福祉法人 とみだ福祉会

人のぬくもりを大切に、医療と介護の両面からサポート

いつも思いやりを持って、信頼してもらえる関わり方ができれば

「より人と接することができる介護の仕事に就きたい」と前職を辞め、介護専門学校で改めて学ぶ機会を持った梶田茂雄さん（44歳）。12年前にとみだ福祉会に入職して、現在は管理者としてデイサービスに携わっている。その仕事内容は自宅で一人暮らしをする高齢者に来ていただき、みんなと一緒に運動やレクリエーションを行って今の生活を少しでも楽しくするお手伝い。加えて食事や入浴などの日常生活上の支援や、利用者同士の交流を深めるために季節行事ごとのイベントなども趣向を凝らして行っている。仕事に向き合ううえでいつも心がけているのは「思いやり、信頼、地域への貢献」という法人の理念。「デイサービスを終えてお見送りするときに『今日も楽しかった、また来るわな』と言ってもらえるのが、一番嬉しいですね」と語るその笑顔には、仕事のやりがいが満ちている。そんな梶田さんが「見た目の通りみんなを丸く包み込むような優しさがあって、誰からも愛されている」と評するのが、介護専門学校を卒業し9年前に入職した四宮優斗さん（29歳）。誰とでもすぐに打ち解ける明るいキャラクターを活かして、イベントなどでは盛り上げ役としていつも参加者を笑顔にしているという。仕事の魅力を聞くと、「利用者さんと一緒になって楽しむことで、相手に感謝してもらえる。自分の趣味や得意なことを活かせて、やりたいことにもチャレンジできる職場です」と、満面の笑みで答えてくれた。

心を込めたケアで地域社会に「安心と安全」を。

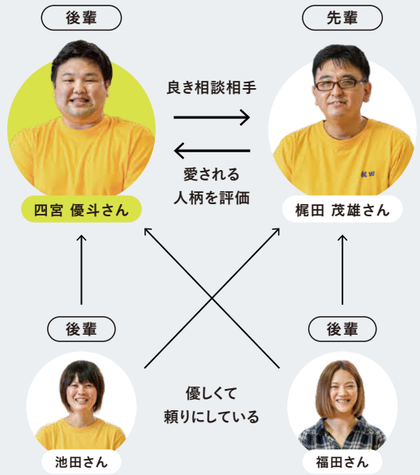
昭和56年、徳島市中昭和町に地域の診療所として開院した林内科。より良い医療と地域への貢献を追い求めるなかで直面したのは、少子高齢化や核家族化などの社会構造の変化だったという。家庭での介護力が低下する現状で、医療機関同士のみならず医療と介護、福祉との連携が重要だと考え設立されたのが、林内科を母体とした医療法人 はやし会と社会福祉法人 とみだ福祉会。「思いやり、信頼、地域への貢献」という3つの理念を掲げ、医療法人・社会福祉法人ともに多様なサービス事業を展開している。とみだ福祉会では、食事や入浴・レクリエーション等のサービスを日帰りで提供する「デイサービスとみだ」、高齢者専用の集合住宅「ケアハウスとみだ」、介護老人福祉施設「とみだの家」を運営。それぞれの事業所が連携しながら、地域社会に「安心と安全」をもたらし、最前線で心を込めたケアと安心で快適なサービスを提供する。

とみだ福祉会では介護職・看護職・管理栄養士を募集しており、入職してから業務全般を学ぶ個別研修や、介護に必要な資格取得のサポートも手厚い。無資格・未経験でも安心して働ける環境が評価されて2018年度にはユースエール認定企業にも選定された。「住み慣れた街で、ぬくもりを感じながら誰もが最後まで生活できるお手伝いをしたい」。法人設立時に芽生えたその想いは、新たな職員たちへも脈々と受け継がれている。

社内相関図

とみだ福祉会メンバー

若いスタッフからベテランまで、事業所同士も連携しながら、地域に根差した医療と介護サービスが提供されている。とみだ福祉会ではスキルアップや働き方に合わせて、関連するはやし会への人事異動も行われているそうだ。



年齢も経歴も異なる梶田さんと四宮さんだが、「利用者さんがしてほしいことを叶えて、笑顔が見たい」と思う気持ちは同じ。介護やデイサービスのイメージがもっと良くなり、気軽に利用できる場所を目指しているという。

「“思いやり、信頼、地域への貢献”という法人の理念に共感できる人と一緒に働きたい」と話す二人。介護の現場をより明るくポジティブなものにしていきたいと、職場には笑顔が溢れている。

DATA

社会福祉法人 とみだ福祉会

TEL.088-602-2323

設　立	2003年7月
代表者名	理事長　林 正
住　所	徳島県徳島市中昭和町3-48-1
営業時間	8:30～17:30
休　日	4週8休制、1カ月間の勤務シフトによる
事業内容	デイサービスとみだ、ケアハウスとみだ、特養とみだの家の運営
支店等	デイサービスとみだ、ケアハウスとみだ、特養とみだの家
募集職種	介護職、看護職、管理栄養士（試用期間3カ月）
勤務場所	デイサービスとみだ、ケアハウスとみだ（徳島市中昭和町3-48-1）、特養とみだの家（徳島市中昭和町2-103）
勤務時間	事業所により違いがあります。7:00～16:00、8:30～17:30、13:00～22:00、22:00～7:00 他
休日・休暇	4週8休制、有給休暇、育児休業・介護休業・看護休業、年間休日数108日
昇給・賞与	昇給年1回、賞与年2回
諸手当	事業所により異なる（職務手当、介護手当、処遇改善金、特定職務手当、当直手当、遅出手当等）
福利厚生	社会保険完備・退職金制度、定年制、再雇用制度、交通費支給、マイカー通勤、研修制度

四国放送 株式会社

郷土愛を持って徳島を取材し尽くすジャーナリストたち

夢を自分の手で実現する力強さで本格報道キャスターへの道をひた走る

小さな頃からテレビが大好きでテレビ局で働くことを目標としてきた佐々木聖夏さん（26歳）。埼玉大学へ進学した後もその夢を追いかけ、全国各地の放送局を受けた。最終的に佐々木さんが選んだのは徳島だ。配属先は報道制作局で、新入社員の登竜門とされる警察担当記者となった。持ち前の明るさと強い責任感で仕事は一生懸命にこなしたが、佐々木さんは裏方ではなく表舞台に立つ仕事に憧れを抱いていた。そこで「テレビに出る機会は与えられるのでなく、自分で作り出せばいいんだ」と一念発起し、合格率5％前後の超難関資格・気象予報士の勉強に取り組んだ。そして、6回目の受験にして気象予報士に見事合格した。これには、総務局で採用を担当する福岡部長も驚いたという。そんな彼女といっしょに仕事をして刺激をもらっているというのは、報道部主管記者・行政取材統括の小喜多雅明さん（52歳）だ。大ベテランの小喜多さんだが、佐々木さんの前向きさと、若手ならではの仕事の仕方は勉強になると、一記者として彼女を認めている。「女子アナという言葉があるのは実は日本だけ。海外では女性リポーター自らがネタを見つけ、取材し、見たもの感じたものを伝えている。彼女はそんな本格派報道キャスターになる」と、期待を寄せる。気象予報士の資格を武器に、佐々木さんが活躍している姿をテレビの中で見る日も近い。小さい頃からの憧れを自らの手で実現していく彼女の成長は、まだまだ止まらない。

徳島の人・もの・情報をいち早くお届けするメディア

開局から72年を迎える四国放送。四国で初めての民間放送局として誕生以来、徳島の歴史を休みなく電波にのせて刻み続けている。夕方の時間を楽しく彩るコンテンツが目白押しの情報ワイド番組「ゴジカル！」、徳島のニュースの背景を深く掘り下げる「フォーカス徳島」など、県民の支持を得るテレビ番組のほか、ラジオや「四国放送まつり」「阿波の狸まつり」など地域に根差したイベントなども手掛けている。

報道制作局 報道部では、記者・デスク合わせて21人のうち、20代が7人と他部署と比べると若手が多く活躍中。警察、県政、教育などそれぞれ担当制となっており、ネタ探しから取材、原稿作成、編集まで一記者が行う。その日の取材内容は、即夕方のニュースで放映するので、スピード感を持ってこなす必要がある。取材は生き物でマニュアル化できる仕事ではないため、入社後はOJTで経験を重ねていく。放送局には営業や技術、番組制作など多種多様な人が集まっているので、人とコミュニケーションを図りながら目標に向かって自己研鑽できる人が求められている。

〝何かを変える・動かす〟可能性を秘めた、記者の仕事のおもしろさ

記者の仕事は責任感も大きい分、影響力も想像以上に大きい。佐々木さんが小中学生の女子に多い「側弯症」について、徳島の発見率は全国に比べて低いことをニュースのひとつとして取り上げた。すると、その放映をきっかけに県議会で議論されるようになった。また、YouTubeにアップされたそのニュースが再生回数69万回まで伸びるなど、かなり注目を浴びた。これをきっかけに早期発見への取り組みの一助となったり、同じ悩みを抱えていた人の気づきにもなったりと、メディアには〝何かを変える・動かす〟という力がある。元記者で、現在は採用担当の福岡部長は、記者の仕事のやりがいは「地域貢献に重ね合わせ、自己実現ができる仕事」だと表現する。

大先輩と駆け出しの若手だが、お互いが取り上げたニュースのYouTubeの再生回数を競い合う様子は良きライバル。ふたりの関係からも報道制作局の和気あいあいとした様子がうかがえる。

社内相関図

報道制作局 報道部のメンバー

ベテランで熱い先輩たちの仕事ぶりを直に感じ、刺激を受けて佐々木さんも成長している。仕事はバリバリしながらも大きな笑い声と笑顔があふれる部署だ。

DATA

四国放送 株式会社

TEL.088-655-7512

設　立	1952年4月
代表者名	代表取締役社長　岡元 直
住　所	徳島県徳島市中徳島町2-5-2
営業時間	9:30～17:30
休　日	土曜、日曜、祝日、年末年始
事業内容	民間放送業
支店等	東京支社、大阪支社、高松支社
募集職種	【放送総合職】技術（放送・システム）、報道、制作、営業他（試用期間6カ月）
勤務場所	徳島、東京、大阪、香川
勤務時間	原則として 9:30～17:30 実働7時間（休憩1時間）
休日・休暇	完全週休2日、年末年始など
昇給・賞与	賞与年2回（7月・12月）
諸手当	通勤手当、家族手当、住宅手当等
福利厚生	退職金制度、各種社会保険制度、永年勤続表彰等

ホンダ北徳島（ホンダカーズ徳島中央 沖浜店）

私たち社員みんなの共通点は「人とホンダの車が好き！」

ホンダ沖浜店の若き営業マン！ 1歳年下の先輩×1歳年上の後輩

カフェ店員からカーディラーの営業マンへと転身を遂げた植地祐太さん（26歳）。先輩社員であるが、年齢は1歳年下だという田中紀子さん（25歳）とふたりで、沖浜店の若手営業マンとして切磋琢磨している。

入社時の共通点は「ホンダの車が好きだったから」と、実にシンプル。新卒で入社した田中さんは「車を販売する仕事というよりは、お客様一人ひとりと向き合う〝人対人〟の仕事です」と、笑顔の中に仕事への信念をのぞかせる。植地さんは入社1年目だが、前職の接客業の経験を活かし、早くも戦力として活躍中。「車を購入いただいたら終わりではなく、そこからがスタート。お客様が快適に安心してカーライフを送れるように、メンテナンスやアフターケアまでしっかり管理をするのも私たちの仕事です」と語る。ふたりの表情や言葉の端々から、日頃から丁寧な接客をしているのが伝わってくる。

ここまで活き活きと仕事に取り組んでいるのは、職場の環境が大きい。ふたりの先輩・佐野主任や上司の竹内店長代理が、教育係としてお客様との関わり方や商談の進め方、書類の作成まで優しく時には厳しく、ふたりに寄り添った指導をしてくれているそうだ。「上司というより〝お父さん〟のような存在」とふたりから慕われる店長代理・竹内さんは「まだまだ荒いところはあるが、いい営業マンになる」と、太鼓判を押す。若手を見守る目が温かい職場だ。

新卒・中途採用ともに充実の研修で「プロ人材」を育てる

ホンダ北徳島は、ホンダカーズ徳島中央の屋号で県内に5店舗・2事業所を構える自動車ディーラーであり、四国運輸局指定の民間車検工場を併設している。徳島県で暮らす上では、車は生活に欠かせない存在だ。だからこそ「お客様のライフスタイルに合った豊かなカーライフを送ってもらうために何が出来るか」を常に追求し、【誠実・信用・和】をモットーとしたサービスを展開している。

採用にあたっては「販売・営業職」「サービス職（自動車整備士）」「CA業務・事務職」の3つの職種に合わせて、新卒・中途に関わらず入社から1～2カ月間は本社で研修を行う。その間に自動車や販売に関わる資格を4つも取得するというから驚きだ。採用担当の張間常務は「お客様の前に立ったら全員がプロ。基礎・基本はもちろんだが、しっかりキャリアを身につけて接客やサービスにあたれるよう工夫して研修しています」と語る。営業では、お客様一人ひとりに対して提案も対応も異なるので、毎日が勉強の連続だという。サービス職は、ホンダの技術を守る〝最前線〟として日進月歩の最新技術を常に学び取る。入社1年目から中堅、店長候補に至るまでそれぞれの段階に合わせた資格や研修を行っている。全職種で仕事を通して常に勉強する環境があるので、成長意欲が高い人にはぴったりの仕事だ。

ディーラーの採用を取り巻く環境はここ数年で大きく変わった。以前は自動車整備学校を卒業し、整備士を10年程度経験した後に営業へ異動するのが業界の主流だった。しかし、ホンダ北徳島では7年前から採用方針を大きく変え、新卒や中途未経験採用を強化させ、さらに研修を充実させた。新卒を対象とした夏・冬のインターンシップでは、田中さんや植地さんなど現場の若手社員が、学生をお客様役として商談をするなどリアルなふたりの仕事ぶりに触れられるそうだ。若手を採用し、若手が採用に関わるなどの企業努力が実り、2023年にはユースエール認定企業となった。これからもホンダでふたりに続く若手の営業やサービス担当が誕生するのが楽しみだ。

「好奇心が強く、人と話すのが好き」というふたりは、それぞれ自分の個性を活かした営業スタイルでお客さんの心を掴んでいる。

社内相関図

営業部の皆さん

個人プレーが多くなりがちな営業職だが、ホンダ北徳島ではチームワークを大切にした接客を心がけている。現在は佐野主任がふたりの教育係。個性的なベテランの先輩たちの姿が、仕事の教材そのものだ。

DATA

ホンダ北徳島（ホンダカーズ徳島中央 沖浜店）

TEL.088-693-4677

設立	1969年9月
代表者名	代表取締役　久岡 英彰
住所	徳島県鳴門市大津町大代字西ノ須15-1
営業時間	9:30~19:00
休日	水曜
事業内容	小売業（自動車販売）
支店等	鳴門店、中吉野町店、沖浜店、鴨島店、藍住店、本社・事務センター
募集職種	販売・営業職、自動車整備職、CA業務・事務職（試用期間3～6カ月）
勤務場所	左記の各営業所・支店
勤務時間	9:10～18:10（全職種）、10:00～19:00（販売・営業職のみ交代勤務）
休日・休暇	年間休日110日（土曜、日曜、祝日は毎月の勤務シフトで調整）、GW、夏季休暇、年末年始、リフレッシュ長期休暇（GW、夏季休暇にプラス2日）、有給休暇（年次取得制、半日休暇制度あり）、特別休暇（慶弔等）
昇給・賞与	昇給年1回（4月）、賞与年2回（7月、12月）
諸手当	役割・資格手当、通勤手当、皆勤手当、家族手当、工具補助手当（自動車整備職）、奨励加給
福利厚生	ホンダ販売共済会福祉制度、ホンダ販売企業年金制度（確定給付型）、退職金制度、財形貯蓄制度、リゾートマンション保養施設利用制度

取り組むのは、地域の活性化につながる街の創造

職場見学で変わった建設会社のイメージ

工務部の元木寛之さん（28歳）は愛媛県で工場のプラント施工管理の職に就いていたが、高木建設で総務部長を務める母から入社を勧められ2年前に転職。現在は親子で職場を同じくし、発注者とのやりとりや資材の手配など工事現場の管理を学びながら行っている。元木さんと同期の後藤玲奈さん（22歳）は、つるぎ高校商業科在学中に建設業経理士の資格を取得し、短期大学を経て資格が活かせる高木建設に入社。会社の事務・経理をメインで行う傍ら広報も担当していて、元木さんと一緒に就職希望者の職場見学やインターンシップ対応、学生向けのイベントなども行っているそうだ。そして後藤さんと同じ総務部で社会人生活をスタートさせたのが、坂東春奈さん（19歳）。直属の先輩と同じつるぎ高校で建設業経理士の資格を取り、実務をこなしながら上級資格を取るための勉強にも励んでいるという。そんな坂東さんと同期入社の大宗凜さん（19歳）は高校の時からの同級生で、ともに部活は経理部に所属していたという間柄。工務部初の女性社員として期待を集める大宗さんは、ICT技術を駆使して土木現場などでスキルアップを目指して奮闘している。

4人それぞれに共通するのは、入社動機でもある「職場見学に来て建設会社のイメージが変わった」という高木建設の職場環境。洗練された社屋や活き活きと働く人たちのぬくもり、地域に貢献する取り組みが若い人材を惹きつけている。

地域の「共有の財産」をつくり建設業の新しい時代を築く

地域で暮らす人々の生活の向上や、産業の振興に欠かせない公共財の整備。そんな公共工事に取り組むのが、平成2年に美馬市美馬町で創業した高木建設だ。道路や河川・砂防・治山・解体に至るまで、地域の人たちにとって「共有の財産」となる工事を実施。ICT技術を導入することで国交省が掲げる生産性革命プロジェクト「アイ・コンストラクション」を進め、建設業の新しい時代を築こうとしている。現在グループ会社も含めた従業員数は57名で、半数が45歳以下と建設業界では珍しく若手が多数在籍。未経験の新入社員でもそれぞれが自分の得意な分野を見出し、誇りを持ってプロフェッショナルになれるよう若手の育成にも注力しているという。例えば土木施工管理技士や車両建設機械など、土木の現場に必要な資格や免許取得の費用は会社が全額負担。また、30歳以下の社員が立ちあげた「インフィニティの会」では、月一回の会合で若手の立場から無限に意見や考えを出し合って集約し、より良い仕事の環境づくりを会社に伝える取り組みも行われているそうだ。自社HPのデザインやコンテンツもこの会から生まれたアイデアが反映され、インターンシップも主導している。

高木建設の社訓は「会社の成長は社員と共に、社員の成長は会社と共に、全ての成長は地域と共に」。その社訓を体現し地域に根ざして新たにチャレンジする若い力が、安全・快適に暮らせるより良い未来を築いていく。

社内相関図

若手メンバー

仕事だけでなくプライベートでも若手と先輩・上司の繋がりがあり、壁のないフランクな職場環境が高木建設の魅力。会社所有の船でマリンスポーツを楽しみ親睦を深めることもあるという。

後藤さんと元木さんは若手で構成する「インフィニティの会」のリーダーで、インターンシップも主導。昨夏は地元美馬町の吉野川をカヤックで下り、実際に堤防工事を行った現場も見てもらうプログラムを実施して好評を博した。

「仕事の幅を広げながら1級建設経理士の資格を取りたい」という坂東さんと、「土木だけでなく将来は建築の分野でも活躍できれば」と話す大宗さん。新年度に入社する後輩にも優しく指導して、何でも相談に乗ってあげられる存在になりたいと目標を語ってくれた。

DATA

有限会社 高木建設

TEL. 0883-63-5665

設立	1990年12月
代表者名	代表取締役　髙木 伸也
住所	徳島県美馬市美馬町字露口84－7
営業時間	8:00～17:00
休日	技術系総合職（日曜、土曜は会社カレンダーに基づく） 事務職（土曜、日曜、祝日）
事業内容	総合建設業
支店等	なし
募集職種	技術系総合職（建設技能者・現場管理者・ICT施工管理者） 事務職（総務事務・広報・工務事務）
勤務場所	本社
勤務時間	8:00～17:00
休日・休暇	技術系総合職 年間81日（来年度100日予定）／事務職 年間118日 有給休暇、産休・育休
昇給・賞与	昇給年2回、賞与年2回
諸手当	通勤手当、資格手当、子ども手当
福利厚生	資格取得費用負担、つみたてNISA、研修旅行（2年に1回）、総合福祉団体定期保険加入・退職金共済加入

採用 新卒&中途

アイ・エス・フーズ徳島 株式会社

最先端の栽培技術で育む「青ネギ」が、農業の未来を照らす

青ネギと人が徳島で深く根を下ろす

大学時代にサークルで林業に携わる機会を得て一次産業に興味を持ち、農業の道に進みたいと考えた山本伊織さん（31歳）。農業求人サイトで青ネギを生産するアイ・エス・フーズの存在を知り、学生時代を過ごした東京から阿波市へIターンを果たした。今は品質管理部の部長として肥料の管理や、ネギの年間作付け計画を立てる業務などに勤しんでいる。地元・阿波町出身の流一馬さん（24歳）は、徳島県農業大学校を卒業してネギ農家に就職。「もっと大きな場所で挑戦したい」と3年前に転職し、現在は副農場長として現場の指揮・監督を行いながら、新人の指導にもあたっているそうだ。常に心がけているのは「ネギも後輩も〝大切に育てる〟こと。それが自分のキャリアも育んでくれる」と、仕事の楽しさを実感している。そして今年度入社したメンバーも新戦力として活躍中。兵庫県出身で大学卒業後に入社した平野立樹さん（22歳）は、青ネギの収穫や除草など管理作業全般を担当し、先輩の背中を追いかけながら汗を流す毎日を送っている。もう一人の林優介さん（20歳）は、高校時代にアイ・エス・フーズのインターンシップに参加して入社を志望。一度は不採用となったが、夢を諦められずに農業大学校で学び直し卒業後に念願の入社を果たした。「入社した時、会社の皆さんが高校時代にインターンシップで来たことを覚えてくれていて、とても嬉しかった」。アイ・エス・フーズの企業風土がほの見えるエピソードだ。

目指すは世界と戦える農業のリーディングカンパニー

高品質で芳醇な甘みを持つ「青ネギ」の生産・加工に特化したアイ・エス・フーズ徳島は、兵庫県淡路島の本社から規模拡大のために分社化し、平成29年に温暖で肥沃な土壌を有する阿波市で設立された。最先端の栽培技術を導入し、「年間安定供給・安全高品質」をモットーにシステム化した生産体制で年間収量は阿波市だけで約780tを誇る。高齢化や人口減少により日本の農業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、代表の酒井貴弘さん（30歳）が目指すのは日本農業のリーディング企業。「自分自身も昔は家業の農業が嫌いで、『汚い、地味、儲からない』というイメージを持っていました。でもやり方ひとつで〝儲かるビジネス〟にシフトチェンジすることができる。従来の固定概念にとらわれず最先端のビジネスモデルやテクノロジーを積極的に導入して、儲かる農業のモデルになれれば」と、若き代表の言葉は熱をおびる。加えて農業の革新と他県への規模拡大を進めるうえで、企業の根幹となる組織作りも重要視しているという。「目指すのは個々の役割を明確にして、やるべき仕事を全員が全うできる組織。大切な社員を守るために待遇の整備や、全員が自分のキャリアビジョンを見据えて成長できるような環境作りをしていきたい」。平均年齢30代前半という活力ある社員みんなで同じベクトルに向かう。農業の新たな世界を歩むその道は、みずみずしい〝青ネギ〟のように真っすぐ伸びている。

社内相関図

社長と若手メンバー

「良い仕事をしたときは褒めてくれて、困ったことがあれば察してアドバイスをくれる」と、新人にとって先輩は頼りになる存在。「職場はいつも和気あいあいとした明るい雰囲気で、やりがいも感じられる」と皆が笑顔で語る。

明るく真面目な仕事ぶりを評価 ↓　↑ 頼れて目標とする存在

農業の新しい未来を支えるのは、活力に溢れた若き社員たち。アイ・エス・フーズ徳島は、優れた経営を実践している農業経営体を表彰する「全国優良経営体表彰 2020」経営改善部門・農林水産省大臣賞も受賞している。

林さんは高校時代、ライフル射撃競技選手権大会で日本一に輝いた経歴の持ち主。高卒で入社を希望したが、大学の推薦も来ていたため代表の酒井さんからは進学を進められたそうだ。一時は不採用となるも思いは変わらず、農業大学を卒業して念願の入社を果たした。

DATA

アイ・エス・フーズ徳島 株式会社

TEL.088-679-7950

設　立	2017年6月
代表者名	代表取締役　酒井 貴弘
住　所	徳島県阿波市土成町成当1320-1
営業時間	8:00～17:20
休　日	週休2日制（固定休：日曜）
事業内容	青葱の生産・販売
支店等	大分九重支店
募集職種	生産管理職、営業職、カット野菜加工職 ブランディング・マーケティング職、経営戦略職
勤務場所	本社
勤務時間	①8:00～17:20　②7:00～16:20　③6:00～15:20
休日・休暇	原則週休2日制、特別休暇　※繁忙期（5月・8月・9月・10月）は週休1日（固定休：日曜）【2023年度実績：年間休日97日】
昇給・賞与	昇給年2回（12月・6月）、賞与年2回（12月・6月）約2～3カ月分※業績による
諸手当	時間外手当、通勤手当、休日出勤手当、資格手当、勤続手当、役職手当
福利厚生	作業服支給、慶弔見舞金、健康診断、新生活支援（県外からの引っ越しを伴う場合、初年度のみお米の支給）

東海運 株式会社

徳島にいながら世界と繋がる「物流のプロ」へ！

社長も若手も、社員一人ひとりが「東」の物流を守る主役

「徳島でいながら日本を飛び越えて、世界と繋がる仕事に携わっていることに大きなやりがいを感じる」と話すのは、入社2年目を迎える仲須大晟さん（24歳）。仲須さんは同社の東亞合成 事業部で、メーカーと船主や配車担当との間でスムーズな物流をするためのオペレーターとして業務に励んでいる。荷物の積込み、船の入港・出港時間の打合せ、お客さまの要望に合わせた提案など、輸出入の最前線となる業務も任されている。専門の知識や資格も必要だが、もっと大事なのは「前向きさとコミュニケーション力」と、採用担当の中野部長は言う。仲須さんにはその両方が備わり、先輩たちの背中を見て日々成長している。仲須さんと同じ部署で働くのは、1年先輩の増井七美さん（25歳）。神戸で国際貿易関係の会社に勤めるお兄さんの影響から、物流の仕事を身近に感じ、大学卒業後は徳島へUターンして東海運に入社した。国家資格である運行管理者を取得し、安全で確実な輸送を行うために現場メンバーをサポートしている。また、増井さんの同期の花住咲愛さん（25歳）は、本社で総務・経理を担当。会社の雰囲気づくりを第一に考え、会社の窓口としていつも明るくお客さまをお出迎えする。そんな若手社員たちとフランクに接する粟飯原社長も40歳と、経営者としては若い。若手経営者と若い社員たちが「物流」という大きな舞台で、自分の役割を果たして活き活きと働いている。東海運の今後の飛躍が楽しみだ。

東海運だからこそ成し得る「企画力」と「提案力」で新しい価値を創造する

「物流」と聞いて多くの人がイメージするのはトラックやトレーラーで運ぶ陸上輸送と、船で運ぶ海上輸送だろう。東海運ではそれらに加え、多様な物品を大量かつ安全に保管する倉庫業、さらに貿易取引で必ず必要となる通関業まで、物流に関わる一連の業務を行う総合物流企業だ。徳島県内でこの規模の物流を一手に担う会社は珍しく、物流のすべてを学べる環境がある。また、遠距離輸送の場合には、陸上・海上輸送をミックスさせた新輸送システム「モーダルシフト」を提案し、長時間労働の削減や環境負荷低減、災害時のBCP対策にも取り組んでいる。物流は単にモノを運ぶだけではない。東海運が目指すのは、より良い提案でお客さまのビジネスを高めることだ。多岐にわたる物流のハード面と、商品管理システムなどのIT活用、そして豊かな想像力と総合力をかけ合わせ、お客さまの想像を超えるサービスを届けている。

企業としての高みを目指すとともに部門間の繋がりも大切に

2022年7月に代表取締役に就任した粟飯原社長は、東海運の質の高い物流を唯一無二のものにして「選ばれる会社」となるために会社の信頼づくり、信用づくりに真摯に取り組んでいる。例えば、事故ゼロ企業を目指す取り組みのひとつとして左巻き込み事故を防止するために社員への安全教育はもちろん、ハードへの投資も惜しまず、いち早くシステムの実証実験を行い、未然に事故を防ぐことに努めている。また、各部門間で内部監査や業務パトロールなどを定期的に設け、若手から中堅、幹部まで社員同士が自分事としてお互いの業務を高め合う仕組みを作った。この制度には他部門との連携や交流を図る目的も含まれている。徳島県内だけでも業務場所が10カ所に分散していることから、仕事を通して交流の場を設け、社員同士がお互いの業務を知ることで横の繋がりも強くなり、有機的な組織へと成長している。

仲須さんは総合職、増井さんと花住さんは一般職で入社。それぞれのキャリアアップに合わせた環境があるのも東海運の魅力だ。

社内相関図

東海運の若手メンバー

若手は各業務場所に点在しているが、なかにはプライベートも一緒に過ごす先輩・後輩、同期もいるほど仲が良い。仲須さんは、天満主任（31歳）の仕事ぶりをみながら自身の足りない部分を改善しているという。

DATA

東海運 株式会社

TEL.088-665-6500

設　立	1956年6月
代表者名	代表取締役社長　粟飯原 啓知郎
住　所	徳島県徳島市川内町平石流通団地63
営業時間	8:00～17:30
休　日	日曜・祝日、土曜は当番制
事業内容	総合物流業（海上輸送・陸上輸送・倉庫業・通関業・国際物流 他）
支店等	東京、大分、高松営業所、及び県内10事業所
募集職種	総合職、一般職（総合職は県外勤務の可能性あり、試用期間6カ月）
勤務場所	東京、大分、高松及び徳島県内10事業所（一般職は県内事業所のみ）
勤務時間	8:00～17:30（昼休憩1時間）、土曜当番時は8:15～12:00
休日・休暇	土曜（当番制）、日曜・祝日、夏季休暇、年末年始休暇 他（年間休日120日）
昇給・賞与	昇給年1回（5月）、賞与年2回（7月・12月）
諸手当	通勤手当、時間外手当、扶養手当 他
福利厚生	各種社会保険、退職金制度、財形貯蓄制度、社員持株制度、GLTD保険制度、脳ドック 他

株式会社 アズマ四国

「リフォームにしかない感動」を体感しながら成長中

1年目から責任と役割を！若手がインターンシップを担当

阿南光高校を卒業し、アズマ四国への入社から3年目を迎える清原光太郎さん（21歳）。彼の入社をきっかけにアズマ四国では阿南光高校のインターンシップを受け入れ始めた。清原さんは入社1年目からインターンの主担当を任され、後輩たちに自分の業務を教えたり仕事の楽しさを伝えたりと、お兄さん的存在で接している。そんな清原さんとともにインターンを担当するのが、福島將仁さん（25歳）と福谷美和さん（32歳）だ。3人とも建築リフォーム部 営業課に所属。福島さんと福谷さんは営業担当として、清原さんは水まわりのメンテナンス担当として活躍している。

3人の中では社会人経験が一番長い福谷さんだが、この春、中途採用で入社したばかり。先輩・福島さんのもと、営業のノウハウや建築について学んでいる。「建築の営業というと男性が多いイメージでしたが、自分自身が成長することで女性も活躍できる仕事ということを広めたいし、会社にも建築業界にも新しい風を吹き込みたい」と力強く語る。また、彼女の指導役である福島さんは「当社の業務は9割がリフォームです。今あるものを残して新しいものを作り出すことができる、リフォームにしかない感動があります」と仕事の魅力を教えてくれた。5年目を迎え、いくつもの感動を経験した彼の目はまだまだ輝いている。これからみんなで企画・運営するインターンシップを受けて、3人の後輩となる若い芽がアズマ四国に誕生しそうだ。

新設した体感型ショールームでお客様の暮らしをもっと心地よく

昭和55年の会社設立から阿南市羽ノ浦町を拠点に、住宅リフォーム事業を展開するアズマ四国。リフォームやリノベーション、庭、カーポートにいたるまで施工数は年間2000件を超える。そんなアズマ四国で、今一番の注目が2023年5月に誕生した体感型ショールーム住まいスタジオ「Subako」だ。お客さまにより良い提案をするために打合せを訪問型から来店型に切り替え、1階はリビングのリアルな導線や間取りを体感できる空間にした。2階は耐震や断熱、構造などの展示コーナー、メーカーとのオンライン商談スペース、パースの色などをその場で変更しながらお客さまのイメージを具現化できる場をつくるなど、提案の幅が格段に広がった。また、2023年10月に徳島オフィスを新設し、県内に2拠点を構えることで働く環境を整備している。これらの背景には吉岡明治社長（43歳）の〝より良い提案とお客さまへのフォローを密にする〟〝社員の若返りを図る〟という2つの想いがある。「若い人は必ず会社を変えてくれる。だからこそ彼らの声に耳を傾け、同時に会社の考えを理解してもらいながら、無理やり感がなく同じ方向を向いて進みたい。社員と会社がともに成長するチームを目指しています」と熱い眼差しで彼らを見守る。若手育成のためにメンター制度や外部研修を取り入れるほか、仕事が属人化しないようチームで対応したり、情報を見える化したりと働き方も進化中だ。

社内相関図

インターンシップ担当チーム

清原さんの入社から3年間、福島さんと二人三脚でインターンシップを担当してきた。今年から新たなメンバーに加わった福谷さん。若い力で仕事の「リアル」を体感できる企画を練り上げている。

倉庫をフルリノベーションした体感型ショールーム住まいスタジオ「Subako」。ボルダリングのあるキッズコーナーや最新のデジタルコンテンツなども備える。

2023年10月、徳島市沖浜に開設した徳島オフィス「暮らしと向きあうReformSalon Subako」。徳島市内のお客さまも羽ノ浦まで足を運ぶことなく、ここで商談が可能になった。

DATA

株式会社 アズマ四国

TEL.0884-44-5638

設立	1981年3月
代表者名	代表取締役　吉岡 明治
住所	徳島県阿南市羽ノ浦町岩脇ヌクミ51-4
営業時間	8:00～17:00
休日	土曜（会社カレンダーにて）、日曜、祝日、夏期休暇、年末年始
事業内容	建設業（建築リフォーム・リノベーション・水まわりメンテナンス・浄化槽保守）
支店等	徳島オフィス
募集職種	リフォームアドバイザー（営業）、現場監督（試用期間3カ月あり）
勤務場所	［新卒］本社（※徳島オフィスへの異動の可能性もあり） ［中途］リフォームアドバイザー：徳島オフィス（徳島市沖浜東3-25-1ハムトクビル1階「暮らしと向きあうReformSalon Subako」）、現場監督：本社
勤務時間	8:00～17:00
休日・休暇	年間休日（2023年94日、2024年100日） 土曜（会社カレンダーにて）、日曜、祝日、夏期休暇、年末年始
昇給・賞与	昇給年1回、賞与年2回（※共に会社業績及び、人事考課による）
諸手当	通勤手当、資格手当、役付手当
福利厚生	各種保険加入、健康診断、退職金共済（入社1年後より）、「あわ～ず徳島」加入、誕生日祝い、バースデー休暇、社用車・社用携帯等貸与

採用 新卒&中途

株式会社 岡本建設（住宅事業部 エソラハウス）

建築家とともに唯一無二の家づくりをプロデュース

先輩や職人たちのサポートで一歩ずつプロへの道を駆け上がる

岡本建設の住宅事業部「エソラハウス アクアチッタ店」で勤める堀尾逸希さん（24歳）。就活中に岡本充律社長（45歳）と出会い、社長の人柄や会社のアットホームな雰囲気に惹かれ、入社を決めた。入社後もその印象は変わらず、居心地が良い理由はそこに尽きるという。そんな堀尾さんにとって相談しやすい先輩が、阿南店勤務の田村弘枝さん（25歳）だ。両親の影響で、家やインテリアを見るのが好きだった彼女は、エソラハウスの無垢材をふんだんに利用した優しい雰囲気の家が好きで、迷いなく入社を決意。「小さな模型が大きな建物になった時、お客さまが喜んでくれているのが一番嬉しい瞬間です」と、目を細める。

堀尾さんと田村さんの仕事は、肩書きの「ハウジングアドバイザー」の通り、家づくりをお手伝いすることだ。新卒で入社したふたりとも建築についてはゼロスタート。でも、周りの先輩や現場監督が丁寧に細かくサポートしてくれる環境があり、今では自分の担当を持つまでに成長した。ふたりが特に信頼を置くのが、建築業界歴30年を超える上司の森さんだ。ふたりがお客さまと打合せするときには離れた場所で見守り、必要があればフォローする。陰から支える大きな存在の森さんはじめ、後輩想いの上司・先輩たちに囲まれ、社是でもある「お客さまの笑顔のために」、ふたりは今日も全力で家づくりに向き合う。

建築家と建てる特別な家づくり。チーム全員でバトンをつなぐ

創業から50年、住宅事業（エソラハウス）と型枠事業を手掛ける岡本建設。県内でハウスメーカーや工務店が数多くある中、エソラハウスが選ばれる一番の理由は「建築家とつくる注文住宅」が叶うところだ。「理想の家を手の届く価格で提供する」というコンセプトの「R+house」に加盟しており、全国のアトリエ建築家と呼ばれる一級建築士が設計を手掛けている。打合せでは、建築家がお客さまの要望を直接ヒアリングする。社員たちは「仕上がった図面はいつも予想ができないものばかりで、毎回ワクワク！」と、常に刺激がいっぱいだ。デザイン性に優れているのはもちろん、住み心地や「高気密・高断熱・高耐震」という機能性でも定評がある。お客さまとの連絡手段ではSNSのチャットでグループを作成し、関わる社員全員で進捗を共有している。このチーム力でハウジングアドバイザーから、職人、インテリアコーディネーターへとバトンをつなぎ、会社一丸となってお客さまの夢の家づくりをお手伝いする。

会社の研修&体制の強化で長く働ける会社を目指す

岡本建設は家づくりの業界では珍しく、20人の社員のうち9名の約半数を若手社員が占める。数字に表れているように若手の採用・育成を積極的に行ってきた成果が認められ、2023年4月にユースエールに認定された。

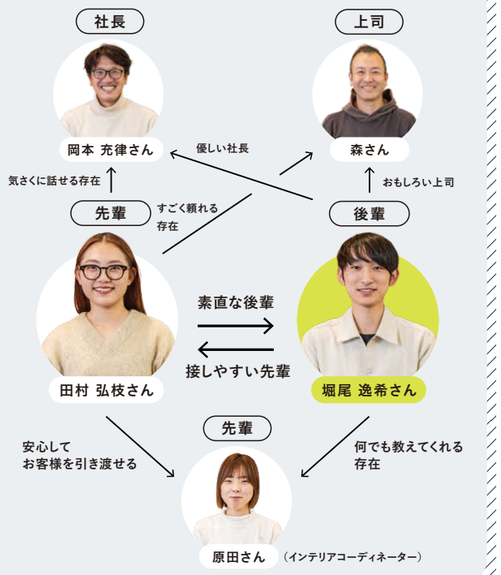
「家づくりの出発点」として、土地探しや地域選びから家づくりの相談まで、まさにお客さまの暮らしをトータルでプロデュースできる仕事だ。

建築業界の担い手不足の中、岡本建設を選んで入社する社員に対して岡本社長は「ユースエール認定は、社員みんなのおかげ。だからこそ、みんなが好きな家づくりの現場で、長く活躍してほしい」と語る。そのために自社内でベテランの先輩たちが後輩たちを細やかにフォローする体制を整える一方、加盟している「R+house」でも若手に研修の機会を設けるなど、全国の仲間たちからたくさんの学びを得ている。今は産休・育休取得中の女性社員が増えてきたこともあって、今後はライフスタイルが変わっても長く働ける職場環境づくりに邁進していく。

社内相関図

エソラハウスのメンバー

勤務場所は離れているものの、打合せや商談などで阿南店とアクアチッタ店を行き来することも多い。常に社員みんなで相談し合って、より良い家づくりを実現している。



DATA

株式会社 岡本建設
住宅事業部 エソラハウス

TEL.0884-42-0159

設立	1973年4月
代表者名	代表取締役　岡本 充律
住所	徳島県阿南市那賀川町今津浦宮面42-1
営業時間	10:00～18:00
休日	毎週水曜、隔週火曜
事業内容	建設業（住宅事業・型枠事業）
支店等	エソラハウス【阿南店、アクアチッタ店】
募集職種	注文住宅の営業、現場管理職（試用期間6カ月）
勤務場所	徳島市、阿南市
勤務時間	営業課9:00～18:00、工務課8:00～17:00
休日・休暇	営業課：毎週水曜、第2・4火曜、工務課：毎週日曜、第2・4土曜（共通）年末年始休暇、GW、夏季休暇
昇給・賞与	昇給、賞与あり（評価制度による）
諸手当	通勤手当、退職金制度、資格手当、役職手当
福利厚生	雇用保険、社会保険、労災保険、健康診断、あわーず徳島

喜多機械産業 株式会社

若手の採用と充実の社内制度で、活気ある会社づくりを実現

採用の要として活躍する若手スタッフが喜多機械産業の未来を切り拓く！

5年連続で新卒社員を10人前後のペースで採用している喜多機械産業。高い採用力を発揮するのは、入社4年目を迎える前田真帆さん（26歳）を筆頭とした総務課のメンバーたちだ。採用の要である前田さんは「学生の採用を最初から最後まで見届けられるのが嬉しいし、この仕事の特権です！」と、にっこり。数年前までは、新卒の合同企業説明会に参加するのは役職のあるベテラン社員だったが、総務課の若手メンバーを中心として採用方針をガラリと変えた。今では250人の社員のうち、10代・20代社員を合わせると50人を超える。これほどまでに若い世代に支持される理由はどこにあるのか。入社1年目の川口夕奈さん（23歳）に尋ねてみた。川口さんが喜多機械産業を選んだ理由は「手厚い福利厚生」と「自由な発想の職場環境」だ。特におもしろいと思ったのは、健康経営のひとつとして社員の健康増進のために半年に一度インボディを測定し、前回より1点でもアップしているとお祝い金が贈呈されるという取り組み。これは、喜多真一社長が会社理念として掲げる「社員一人ひとりが元気で健康でいて欲しい」という思いのもと導入された。また、社員間の仲の良さも魅力だという。川口さんの同期8名はプライベートでも定期的に集まるほど仲が良い。「若い社員がいると会社に活気が出るし、自分たちにはない発想や感覚がある。それを会社に還元してもらいたい」と、喜多社長から若手への期待値は高い。

本気で取り組む「働きやすい環境づくり」。若者から選ばれる理由が随所に

喜多機械産業は建設機械や資材の販売・レンタル・修理を中核事業として、ユニットハウス、太陽光発電など幅広い事業を展開する複合専門商社だ。私たちの生活の基盤をつくる建設の現場において、喜多機械産業の営業マンたちがお客さまニーズに沿ったより良い提案や最先端技術の機械・設備を提供することで、徳島のインフラ整備が円滑に進んでいると言っても過言ではない。また、最近では日本発のトレーニング機器ブランド「BULL」の販売・レンタルなど、スポーツ事業にも取り組んでいる。これまでの業態に捉われず、あらゆる分野へチャレンジできるのも若い力が確実に育っているからだろう。若い人の採用に力を入れている分、企業としての魅力づくりにも妥協がない。ユースエール認定や健康経営優良法人はもちろん、育休取得後の女性の職場復帰率100%&男性の育休取得100%という実績もあり「子育てサポート」のプラチナくるみん認定も受けている。さらに、スポーツ庁が従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けて積極的に取り組む企業に贈るスポーツエールカンパニーにも認定された。これほど多様な取り組みで結果を出している企業は徳島でも珍しい。これらを率先して取り組む喜多社長は本気で「働きやすい環境づくり」を目指していることが分かる。こうした土台があるからこそ、一人ひとりの社員が主体的に伸び伸びと働き、より良いサービスを提供することで顧客満足に繋がっているのだろう。

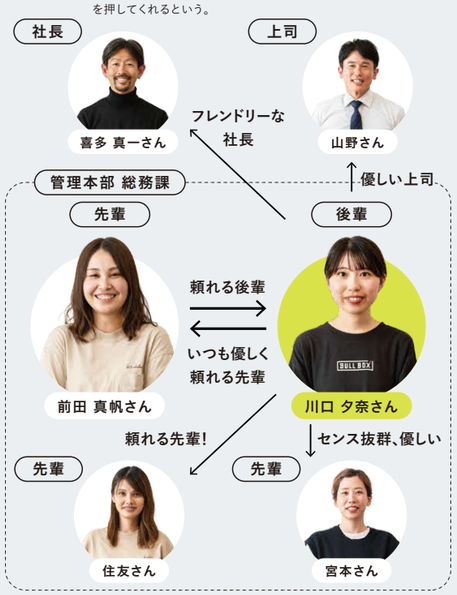
制服も一風変わっていてパーカーやロンTも採用し、社員はその日の気分やTPOに合わせ、自分で制服を選ぶ楽しみがある。

2023年6月に行われた社内運動会には100人以上の社員と家族が参加。スポーツ支援を行っている繋がりで、現役で活躍するプロバスケットボール選手も参加した。

社内相関図

総務課のメンバー

本社の管理本部　総務課では人事・採用、労務、広報を担当。女性メンバーが多く、和やかな雰囲気。喜多社長と近い距離で仕事をすることも多く、社員が提案したことを「まずやってみよう」と背中を押してくれるという。



DATA

喜多機械産業 株式会社

TEL.088-631-9266

設　立	1961年4月
代表者名	代表取締役社長　喜多 真一
住　所	徳島県徳島市庄町3-16
営業時間	8:30～17:30
休　日	土曜、日曜、祝日、設立記念日
事業内容	建設機械・資材の販売／レンタル／修理、ユニットハウス事業、太陽光発電事業、水処理事業など
支店等	県内：12カ所（徳島中央・徳島東・藍住・鳴門・穴吹・三好など） 県外：5カ所（淡路・高松・松山など）
募集職種	営業職・事務職・サービス（整備・修理）職
勤務場所	相談の上
勤務時間	8:30～17:30　休憩60分（12:00～13:00）
休日・休暇	年間休日122日、4月13日（設立記念日）、夏季休暇、年末年始休暇、年次有給休暇、リフレッシュ休暇、育児・産前産後休暇 その他
昇給・賞与	昇給年1回（4月）、賞与年2回（6月・12月）
諸手当	役職手当、資格手当、通勤手当、時間外手当、家族手当
福利厚生	職場積立NISA、退職金制度、健康診断補助、傷病保険、社員旅行（2年に1度）、フィットネスクラブ利用補助券、スポーツ施設法人会員（入会金無料など特典）

“わたし”らしく働く人・場所に出会うガイドブック

徳島で仕事みっけ

01 ワカモノが活躍する企業

徳島で働く10代・20代社会人・全46人登場！

溢れるパワー＆活気ある職場、ワカモノが活躍する企業20社を掲載。徳島の次の時代を築く、ワカモノたちに迫る１冊。

特集

徳島の10代、20代の高校生・大学生・社会人の本音、大公開！

・仕事とプライベート、理想のバランスは？
・私たちが働きたい理想の会社とは？　etc

02 社員ファーストな企業

「働きやすい」理由はここにあった！

社員目線の福利厚生＆制度が大充実の企業20社を総力取材！「働きやすさ」をとことん追求する、令和的な働き方とは!?

特集

徳島の社員たちが選ぶ「わが社の働きやすさ」はここ！

・休日＆出勤日は自分で設定。柔軟に休みが取れます♪
・会社保有のキャンピングカーを無料貸し出し！　etc

03 徳島が誇る技術の会社

モノづくりの現場はおもしろい！

徳島から全国＆世界へ届けられる、プロフェッショナルな技術。モノづくりの現場で働く、徳島の人・技術を追いかける！

特集

・若手から中堅、ベテランまで、技術の現場で働くプロに聞いた！「これが私たちの仕事の必需品」

2024 徳島で仕事みっけ

令和６年１月発行
編集　株式会社ツクレボ
〒770-0912 徳島県徳島市東新町１丁目11番地
TEL　088-678-4777
発行　徳島県商工労働観光部　労働雇用戦略課
〒770-8570 徳島県徳島市万代町１丁目１番地

この冊子は【徳島県令和５年度 企業情報発信支援事業】により作成しました。

住んでみんで徳島で！

Let's Live In Tokushima

アツい思いで情報発信！
とくしま好きなんじょ！

とくしま若者回帰アンバサダー

徳島にゆかり関心のある若者のみなさんがアンバサダーとしてあらゆる分野で徳島の魅力をSNS等で発信し、「徳島に帰りたい！」「徳島ってこんな魅力があったんだ！」と思ってもらうことを目的として活動しています！

社会人も活躍中！

アツい想いで情報発信！

LINE　Instagram　WEBサイト

徳島のグルメ・イベント・就活まで
毎週さまざまな情報をお届け

AWAIRO

“アワイロ”は、阿波（徳島）の色んなことを徳島の若者目線で紹介して応援するとくしま若者回帰の取り組みです。LINE公式アカウントで毎週金曜日20時に配信しています。

友だち追加方法

QRをスマホでスキャン！

@eps7255u で検索

移住相談窓口

徳島県では移住に特化したサポートを行う「移住コンシェルジュ」体制を用意しています。移住の検討段階から住まいや就職、移住後の地域との関わり方など、移住の多岐にわたるステップを、コンシェルジュと各市町村の行政担当が伴走しながらサポートします。

とくしま移住交流促進センター（徳島窓口）

徳島駅クレメントプラザにある「駅のハローワーク」内の相談窓口です。仕事に関しては、同フロア内「とくしまジョブステーション」やハローワークと連携してサポートします。

受付時間	平日 10:00 ～ 18:00 （火曜・木曜 10:00 ～ 18:30、 第１・第３土曜 10:00 ～ 17:00）
休業日	第１・第３以外の土曜、日曜、祝日、年末年始、クレメントプラザ休館日
場所	徳島県徳島市寺島本町西 1-61 徳島駅クレメントプラザ５階（徳島駅直結） とくしまジョブステーション内
連絡先	電話番号（専用フリーダイヤル）:0120-109-407 ※IP電話等、フリーダイヤルをご利用になれない方は088-624-7987

住んでみんで徳島で！移住相談センター（東京窓口）

東京近郊にお住まいの方、土日のご相談を希望される方はこちらにどうぞ！

受付時間	火曜～日曜 10:00 ～ 18:00
休業日	月曜、木曜、祝日
場所	東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館８階 ふるさと回帰支援センター
連絡先	代表番号：03-6273-4401 移住コンシェルジュ直通：090-7720-7047 メールアドレス： tokushima@furusatokaiki.net

とくしま移住相談センターin関西

関西近郊の方はこちらにお気軽にご相談ください。

相談受付時間	月曜～金曜 8:30 ～ 17:15
休業日	土曜、日曜、祝日
場所	大阪府大阪市中央区南船場 3-9-10 徳島ビル４階
連絡先	電話番号：06-6251-3273

住んでみんで徳島で！ Let's live in Tokushima

徳島県移住・交流ポータルサイト「住んでみんで徳島で！」

移住を後押しするさまざまな支援制度や、先輩移住者のインタビュー、若者目線での情報発信など、徳島県に興味がある方、地方移住に関心がある方はぜひご覧ください！

お問合せ
徳島県 政策創造部 地方創生局 とくしまぐらし応援課 移住交流担当
電話番号：088-621-2089　FAX：088-621-2829
メールアドレス：tokushimagurashioenka@pref.tokushima.jp